カシオ電子レジスター

240ER

取扱説明書

保証書別添

電卓機能
店名スタンプ付



CASIO

安全上のご注意

このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に、本書をひととおりお読みいただき、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- 取扱説明書は、お読みになった後も大切にして、わかりやすいところに保管してください。

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人への危害と、財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。
その表示の意味は次のようになっています。

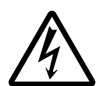


この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は**「気をつけるべきこと＝注意」**を意味しています。
（ 左の例は**「感電注意」**です。⚠ は**「接触注意」**です。）



⃠ 記号は**「してはいけないこと＝禁止」**を意味しています。
（ 左の例は**「分解禁止」**です。 は**「接触禁止」**です。
なお**「絵に表わしにくい禁止」**は ⃠ で表わします。）

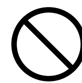


● 記号は**「しなければならないこと＝指示」**を意味します。
（ 左の例は**「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」**です。
なお**「絵に表わしにくい指示」**は ❗ で表わします。）



警

電源・電圧について

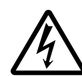


◆表示された電源電圧（交流
さい。また、タコ足配線をしな
火災・感電の原因となること

電源コードや差し込み



◆電源コードを傷つけたり、破
ドの上に重い物を乗せたり、
ードが破損し、火災・感電の原
◆電源コードを加工したり、無
りしないでください。火災・



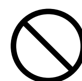
◆濡れた手で差し込みプラグに
あります。

キャビネットは開けな



◆本機のキャビネットを開けな
分や鋭くとがった部分があり
するおそれがあります。
◆本機を改造しないでくださ
ります。

内部に異物や水などを

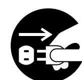


◆本機の開口部から内部に、金
込んだり、落とし込んだりし
ヒー・ジュースなどの液体を
火災や感電の原因となること



◆万一、異物や水などが本機の
をコンセントから抜いて、お
スセンターにご連絡くださ
原因となることがあります。

本機を落としたり、破



◆万一、本機を落としたり、キャ
プラグをコンセントから抜い
サービスセンターにご連絡く
電の原因となることがありま

異臭や煙などの異常状



◆万一、発熱していたり、煙が出
状態のまま使用すると、火災
し込みプラグをコンセントか
の販売店またはカシオサービ

告

100Ｖ)以外の電圧で使用しないでくだ
いでください。
があります。

プラグについて

損したりしないでください。また、コー
加熱したりしないでください。電源コ
因となることがあります。
理に曲げたり、ねじったり、引っぱった
感電の原因となることがあります。
触れないでください。感電のおそれが

いでください

いでください。内部には電圧の高い部
ますので、感電をするおそれやケガを

い。火災や感電の原因となることがあ

入れないでください

属類や燃えやすい物などの異物を差し
ないでください。また、花瓶の水やコー
本機の内部にこぼさないでください。
があります。
内部に入った場合は、差し込みプラグ
買い上げの販売店またはカシオサービ
い。そのまま使用すると、火災や感電の

損したときは

ビネットを破損した場合は、差し込み
て、お買い上げの販売店またはカシオ
ださい。そのまま使用すると、火災や感
す。

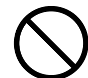
態には

ている、へんな臭いがするなどの異常
や感電のおそれがあります。すぐに差
ら抜いてください。そして、お買い上げ
スセンターにご連絡ください。



注　意

設置場所について



◆ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、ケガの原因となることがあります。
◆湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
◆調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本機の上には物を置かないでください



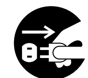
◆本機の上に、花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、または、金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となることがあります。
◆本機の上に重い物を置かないでください。置いた物のバランスが崩れて倒れたり、落下して、ケガの原因となることがあります。

差し込みプラグを抜くときは



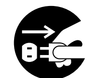
◆差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

移動する場合は



◆本機の移動は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて行なってください。電源コードを引っぱると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは



◆連休等で、長期間本機をご使用にならないときは、安全のために差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

引き出し(ドロアー)の注意



◆引き出し(ドロアー)が開く際、お子様の顔等に当たらないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。
◆引き出し(ドロアー)が開いているときに、ドロアーに寄りかからないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

消耗品交換時の注意



◆記録紙交換等の際に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフ等が巻き込まれないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。



◆プリンターのヘッド部分には触れないでください。ケガやヤケドの原因になることがあります。

店名スタンプの申し込みについて

●製品には、店名のない規格品のスタンプがついていますので、自店専用のスタンプを作成のうえ、取り付けてください。
●販売店に用意されている「店名スタンプ作成注文書」に、内容を正確にハッキリと記入して、販売店へお渡しください。
●店名スタンプ面の大きさは「タテ 10 mm 、ヨコ 30 mm 」です。
●店名スタンプ作成は、製品 1 台につき 1 個は無料です。

□

1 はじめてお使いいただくために

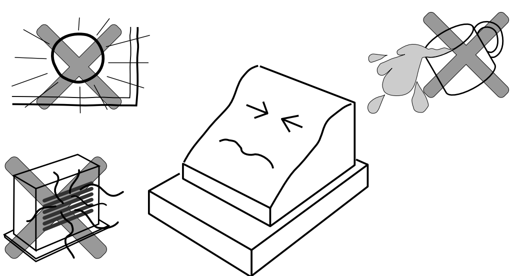
2 一日の操作

3 電卓機能

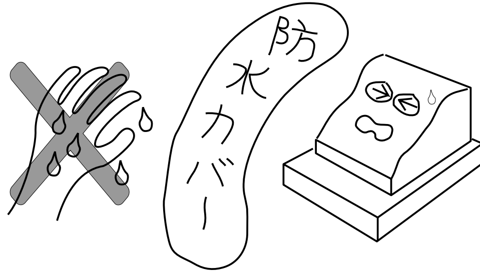
4 便利な操作

お願い《次のことは必ず守ってください》

●温度が高くなる所や、水がかかる所には置かないでください。



●ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。



□ □ 目 次 □ □ □

本書では、登録とそれに関連した操作方法、および、どうしてもお店で行なわなければならないセットの方法について説明します。
なお、注記等が必要な場合は次のように表わします。

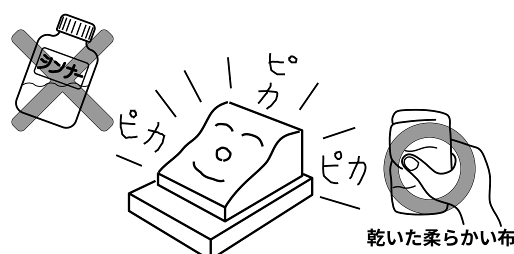
ワンポイント ……解説や注釈、および関連事項を説明します。

設定ページ ……設定方法を説明しているページを示します。

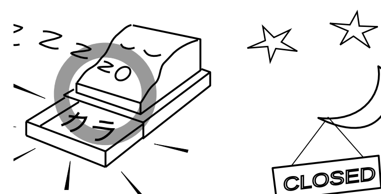
ご注意 ……特に注意しなければならないことです。

●ウエルドラインについて
外観にスジのようにみえる箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。
強度等も問題なく、ご使用にはまったく支障ありません。

●揮発性の液体でレジスターを拭かないでください。



●１日の終わりには、精算をしてドロアー（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。
ドロアーは金庫ではありません。



全体図および付属品

◆ 各部の名前

ロールペーパー
金額や操作内容を
印字する用紙です。

ジャーナル巻き取りホルダー
印字された用紙を「営業記録」として、
お店で保管しておくときに使用します。

●インクリボン
印字が薄く
なったら交換します

書き込み台

インクリボン（この下）

店名スタンプ

プリンターカバー

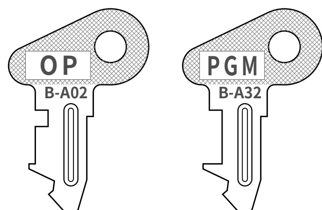
印字確認窓
操作内容を確認することができます。
レシートの場合は、用紙をこの窓から外へ出し、このカッターで用紙を切り取ります。

ドロアー（引き出し）

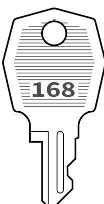
ドロアーロック錠

◆ 付属品

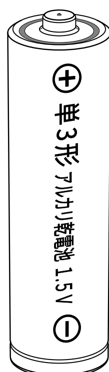
●モード鍵（2種類 各 2本）
O P × 2　**PGM** × 2
（オペレーター用）（精算・設定用）



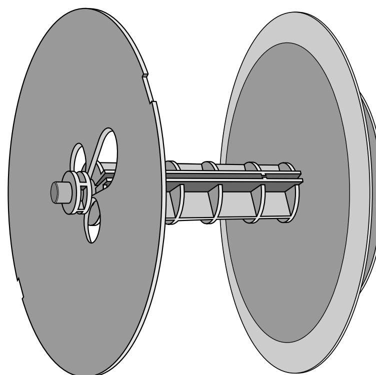
●ドロアー鍵 2本
（ドロアーを開かなくする鍵です）



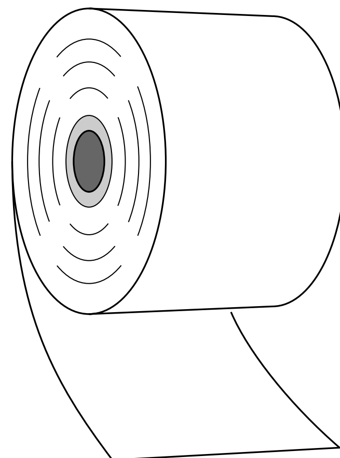
●単３型アルカリ乾電池 3本



●ジャーナル巻き取りホルダー



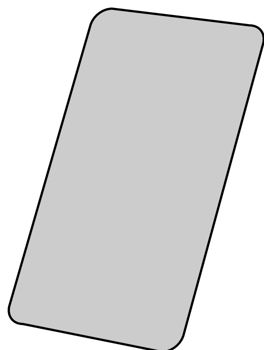
●ロールペーパー　1 個



各部の働き

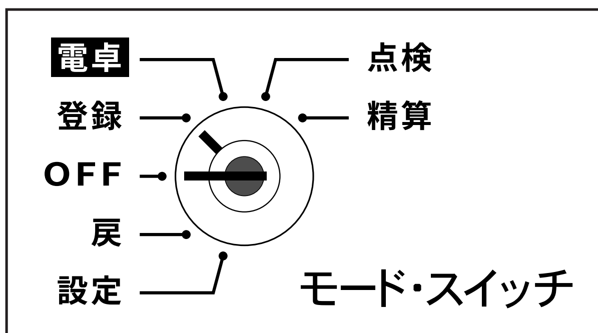
— 背面広告板
お店のPRを入れておくことができます。
— 回転表示窓
お客様用表示として、見やすい角度に回転させます。
— 表示窓
— モードスイッチ
— レシートランプ
レシートが発行できるときに点灯します。
— キーボード
— 電源コード/差し込みプラグ
— 紙幣入れ(3ケ所)
— コイントレー硬貨入れ(5ケ所)

●検銭板(マグネット用金属板)
(「お札置き」として使用します 使いやすい所に貼ってください)



◆ モードスイッチ

付属の２種類のモード鍵(オペレーター用、精算・設定用)で、レジスターの働きを切り替えます。

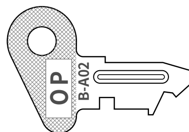


「OFF」… レジスターを使用しないとき
「登 録」… 売上の登録を行なうとき
「電 卓」… レジスターを電卓として使用するとき
「点 検」… 売上の点検を行なうとき
「精 算」… 一日の売上の精算を行なうとき
「 戻 」… 返品(戻し)を行なうとき
「設 定」… お店に合わせたいろいろな設定を行なうとき

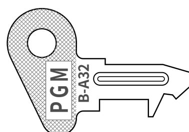
■モード鍵の種類と回せる範囲

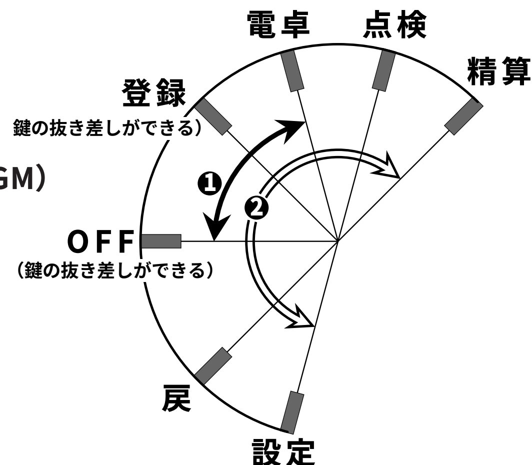
モードスイッチの切り替えには付属の**「モード鍵」**を使用します。
また、それぞれの鍵は回せる範囲が決められています。
なお、どの鍵でも**「OFF」**と**「登録」**の位置で抜き差しできます。

❶ オペレーター用鍵(OP)

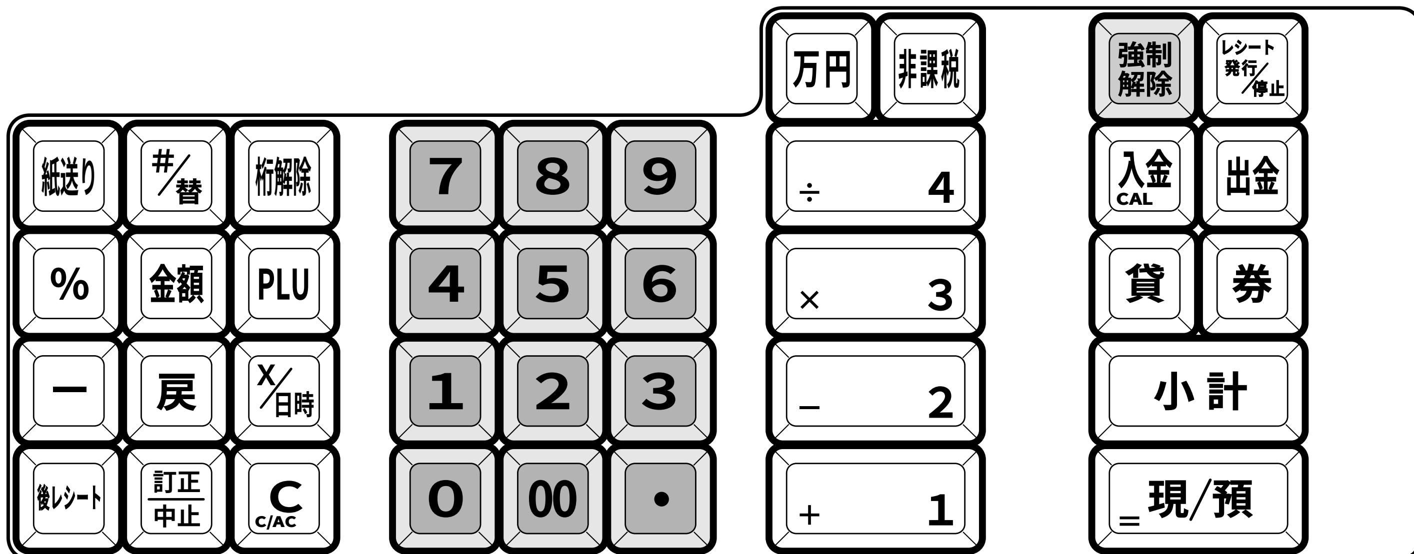


❷ 精算・設定・オーナー用鍵(PGM)





◆ キーボード



紙送り　**紙送りキー**……… 印字用紙を空送りします。

#/替　**ノンアド / 両替キー**… ノンアド印字、または、両替をするときに押します。

桁解除　**桁解除キー**……… 部門キーに設定した「桁数制限」を越えて金額を入れたいときに押します。

%　**パーセントキー**… 割引きまたは割増しのときに押します。

金額　**金額キー**　……… 品番PLU機能を使用するときに使います。

PLU　**ＰＬＵキー**……… PLU機能を使用するときに使います。

ー　**マイナスキー**…… 値引きのときに押します。

戻　**戻しキー**………… 返品戻しのときに押します。

X/日時　**乗算／日時キー**… 乗算登録、または、時刻・日付を表示するときに押します。

後レシート　**後レシートキー**… 後レシートを発行するときに押します。

訂正 中止　**訂正／中止キー**… 直前訂正、または、取引中止のときに押します。

C/AC C　**クリアーキー**…… 数字を入れまちがえたときに押します。**電卓機能**のときは、2回続けて押すと**「オールクリアー」**（ゴハサン）の働きになります。

1 ～ 9 、0 、00 、・　**置数キー** …… 数値を入

万円　**万円キー**………… 万円札を預かったと

非課税　**非課税キー**……… 非課税商品の登録の

+ 1 ～ ÷ 4　**部門キー** …… 個々の商品を**電卓機能**のと計算命令キー

強制解除　**強制解除キー**…… 2回続けて押すとエ

レシート発行/停止　**レシート発行／停止キー** …… 印字用紙に、発行2回続け

CAL 入金　**入金キー**………… 入金のときに押しまで、「答」などのやり取

出金　**出金キー**………… 出金のときに押しま

貸　**貸し売りキー**……「貸し売り」での売上

券　**券売りキー**………「商品券」での売上の

小計　**小計キー**………… 登録金額の合計（中間

= 現/預　**現金売り / 預かり金キー**… 登録の完了のときに押**電卓機能**の

れるときに押します。

きに押します。

ときに押します。

登録するときに押します。
きは、**「+」「−」「×」「÷」**の
になります。

ラーを強制的に解除します。

を「レシート」にしている場合
と停止を切り替えるときに
て押します。

す。**電卓機能**と**レジ機能**の間
りにも使います。

す。

のとき押します。

とき押します。

合計)を見るときに押します。

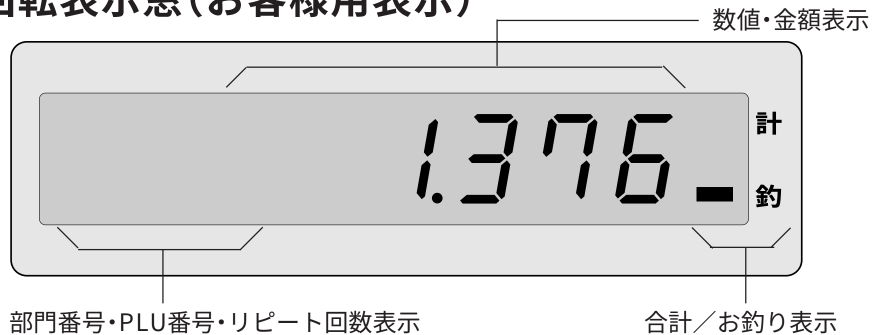
(現金での売上)および預かり
します。
ときは、**「=」**になります。

◆ 表示窓／回転表示窓

■本体表示



■回転表示窓(お客様用表示)



●数値・金額表示
金額や数量、日付、時刻などを表示します。
電卓機能のときは、計算数値を表示します。

●合計／お釣り表示
合計および、お釣りをそれぞれのシンボル(▬)で表示します。

●部門番号・PLU番号・リピート回数表示
- 登録中は、部門番号(2桁)、PLU番号(3桁)、リピート回数(1桁)を表示します。
- なお、最上桁にはモードスイッチを切り替えたときに、その状態を表示します。

n：モードスイッチが**「点検」**のとき
u：モードスイッチが**「精算」**のとき
−：モードスイッチが**「戻」**のとき
P：モードスイッチが**「設定」**のとき
C：モードスイッチが**「電卓」**のとき

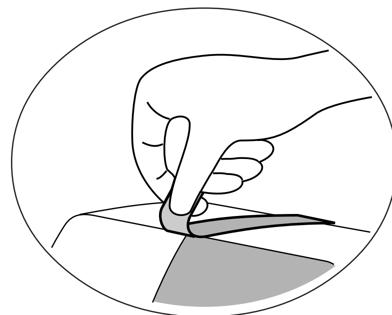
- また、最上桁には上記のほかに、次のシンボルも表示します。

E：エラーのとき
L：電池が入っていない、または、電池の容量が少なくなったとき

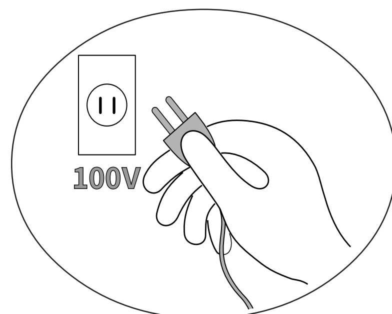
レジスターをお使いになる前の準備―――

ご購入のレジスターは、次の順番にしたがってセットしてください。

1　機械本体をはじめ付属品などのすべてを**梱包箱から取り出し**、本体などに止めてある**保護テープ**をはがします。



2　**付属品**を袋から取り出して、全部そろっているかを確認します。
（ 5ページ《付属品》を参照）



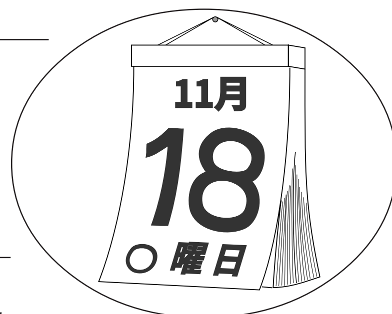
3　機械本体を設置場所（水平なところ）に置いた後に、**差し込みプラグ**を家庭用 100Ｖコンセントに確実に差し込みます。

4　**乾電池３本**を取り付けて（ 11ページ《乾電池の取り付け》を参照）から、モードスイッチに**モード鍵**を差し込み**「登録」**に合わせます。

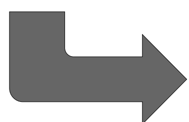


5　**ロールペーパー**（印字用ロール紙）を取り付けます。
（ 12ページ《ロールペーパーの取り付け》を参照）

6　**日付と時刻**をセットします。
（ 53ページ《時刻・日付のセット》を参照）



7　必要に応じて、**消費税の計算の仕方**その他を、お店に合わせた方式に変更します。（消費税の計算の仕方については次ページをご覧ください）
また、ロールペーパーを**「ジャーナル」**としてご使用の場合は、62ページの設定を行ないます。



これでレジスターが使える状態になります　⇒ 一日の仕事の流れ（ 15ページ ）へ

消費税の計算について

消費税の計算の仕方には次の 3つの方法があります。

本機は、各部門キーや各 PLU に、その方式をそれぞれ設定することができますので、3種類が混在するお店でも、まちがいなく計算することができます。

① 外税方式	② 内税方式	③ 非課税方式
商品金額に消費税3%を付加して販売する方式	商品金額に消費税3%が含まれているものを販売する方式	消費税を計算しない(消費税を課税しない)で販売する方式
例:価格 1,000円 本体価格 1,000円 消費税額 30円 合　計 1,030円 受取	例:価格 1,000円 本体価格 971円 消費税額 29円 合　計 1,000円 受取	例:価格 1,000円 本体価格 1,000円 消費税額 0円 合　計 1,000円 受取

●ご購入時の本機は、外税方式に設定されています。(税額の円未満は切捨て)

○外税方式のお店は ・・・・・・このままご使用いただけます。
(外税品のほかに、非課税品のみがある場合もこのままでご使用いただけます)

○内税方式のお店は ・・・・・・内税のみの設定の仕方 ⇒ 56ページ

○非課税方式のお店は ・・・・非課税のみの設定の仕方【A】⇒ 57ページ
非課税のみの設定の仕方【B】⇒ 57ページ

○外税/内税/非課税の商品が混在のお店は・・・・・・
外税/内税/非課税が混在の場合の設定の仕方 ⇒ 58ページ

設定ページ ●税額の円未満を《四捨五入》や《切上げ》とする登録の設定もできます。
消費税額の円未満の端数処理方法を設定する ⇒ 60ページ

●請求額の端数(5円未満あるいは10円未満)を切捨てて請求する「5円丸め/10円丸め」を行なうこともできます。
5円丸め、または、10円丸めを設定する ⇒ 55ページ

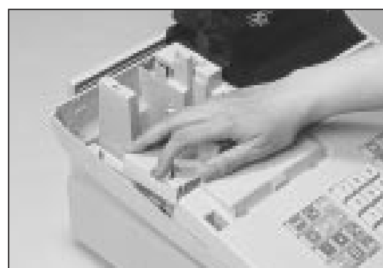
ご注意 ●レストランなどの飲食店では、消費税の他に特別地方消費税や奉仕料の計算が必要な場合がありますが、本機ではこれらの自動計算の設定はできません。

電池とロールペーパーの取り付け方

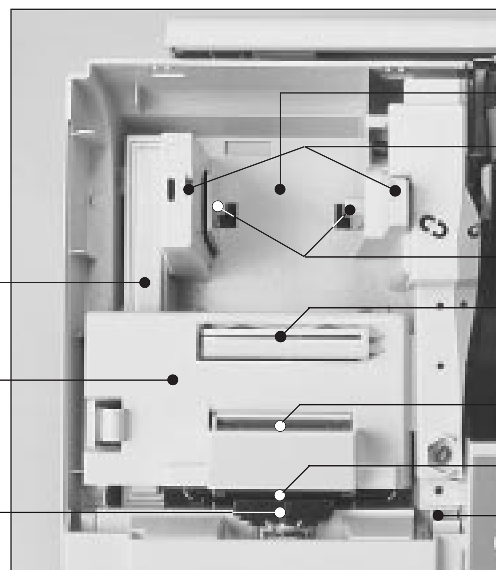
◆ 乾電池の取り付け



① プリンターカバーの「後方部」を持ち上げて、カバーを取り外します。



②「書き込み台」の左側のツマミを押しながら上へあげて、書き込み台を取り外します。





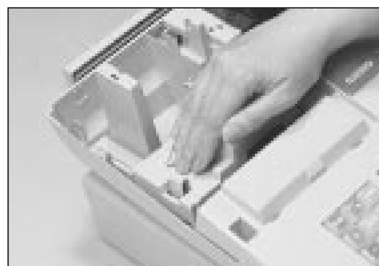
③「電池ボックスのフタ」のツマミを押しながら、左側へ倒して、電池ボックスのフタを取り外します。



④新しい電池を3本、⊕⊖に注意して、電池ボックスに確実にセットします。



⑤「電池ボックスのフタ」を、外したときの逆の要領で取り付けます。
左側のツメの部分を先に入れてから、右側に倒します。



⑥「書き込み台」の右側の凸部を所定の穴に入れ、左側を上から押して、書き込み台を取り付けます。

ご注意 ☞

●本機は、必ず電池をセットしてご使用ください。電池を入れないで使用すると、日付や時刻、集計数値が消えてしまいます。

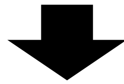
■電池使用上の注意

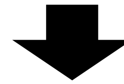
電池は使い方を誤ると電池の液もれで製品が腐食したり、電池が破裂することがあります。次のことを必ずお守りください。

●⊕⊖の向きを間違えないで、正しく入れてください。
●種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
●新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
●充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

ロールペーパー入れ
巻き取りホルダー受け
ロール紙の芯受け
セパレーター
複写ロールペーパーを使用するときは、この下を通します。
用紙挿入口
用紙排出口
非課税方式レジ用フィルム
（57ページ参照）

ロールペーパーの使い方は2つあります。
「レシート」か「ジャーナル」のどちらか一つを選択していただきます。





【A】レシートとしてお客様にお渡しする

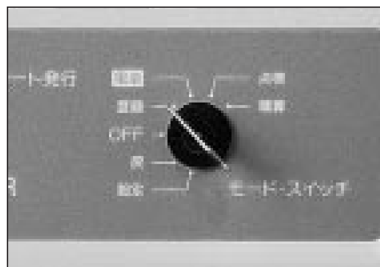
お客様ごとにお買い上げの明細を印字しますので、切り取って**「レシート」**としてお客様に渡します。お客様が購入商品の内容を確認できるため、お店の信頼アップにつながります。

【B】ジャーナルとしてお店で保管する

お客様のお買い上げ内容の明細を印字しますので、そのまま**「売上記録」**としてお店で保管します。お店の財務管理や経理処理、売れ筋商品の把握などに便利に使えます。

ご注意 ●ご購入時の本機は**" レシートとして使用 "**するように設定されています。
ジャーナルとして使用する場合は設定を変更してください。⇒ 62ページ

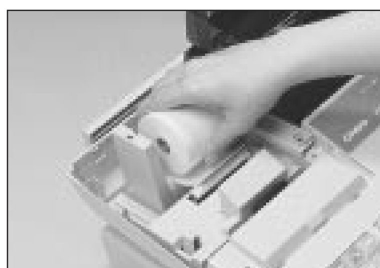
◆ ロールペーパーの取り付け……電池の取り付けに続いて行ないます



①モードスイッチを**「登録」**の位置にします。



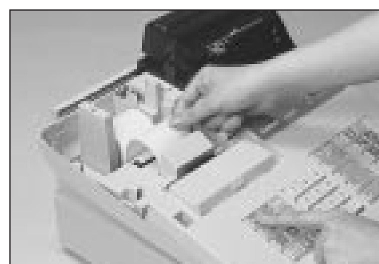
②新しいロールペーパーの先端をまっすぐに切ります。



③ロールペーパーの先端が下から出るように持って、「ロールペーパー入れ」に入れます。



④「ロール紙の芯受け」の左側を広げながら、ロールペーパーを芯受けに正しくセットします。



⑤ ロールペーパーの先端を「用紙挿入口」へ、奥深く差し込みながら［紙送り］キーを押し続けます。

以下、次ページのように「レシート」の場合と「ジャーナル」の場合で、セット方法が異なります。

前ページのロールペーパーの取り付けの続きです。

「レシート」の場合　　「ジャーナル」の場合

【A】印字用紙を「レシート」として使う場合



⑥「用紙排出口」からロールペーパーの先端が出てきたら、プリンターカバーの「印字確認窓」に用紙の先端を通します。



⑦ プリンターカバー前面のツメを所定の穴に入れてからカバーを閉じ、余分なペーパーを切り取って完了です。

◆付属品の「ジャーナル巻き取りホルダー」は使用しませんので、大切に保管しておいてください。

【B】印字用紙を「ジャーナル（営業記録）」として使う場合



⑥「用紙排出口」からロールペーパーの先端が出てきます。
用紙が 20cm 位出るまで 紙送り キーを押し続けます。



⑦付属品の「ジャーナル巻き取りホルダー」の溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、2〜3回巻き付けます。



⑧巻き取りホルダーを「ホルダー受け」にセットします。



⑨用紙のタルミが無くなるまで 紙送り キーを押します。



⑩プリンターカバー前面のツメを所定の穴に入れてから、カバーを閉じて完了です。

◆ジャーナルの場合は、その後に 62ページの設定を行ないます。

ご注意 ☞

●レジスターは、必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。
用紙を取り付けないで使用すると、故障の原因になります。

●ロールペーパーの規格名は **RP-5860**（紙幅 58mm ×外径 60mm）です。
ロールペーパーは当社指定のものをご使用ください。指定品以外の用紙をご使用になりますと故障の原因となることがあります。

●ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約１mです。
キリの良いところでお早めに新しいロールペーパーに交換してください。⇒ 交換方法は 75ページ

◆ 複写ロールペーパー(別売り)の取り付け方

①12ページの「ロールペーパーの取り付け」の①〜④までを行ないます



② 複写ロールペーパーの外側(1枚目)をセパレーターの下に通します。



③ 残りの内側(2枚目)を、写真のように、セパレーターの間に通します。



④ 2枚の用紙を再び合わせて、先端を「用紙挿入口」へ、奥深く差し込みながら[紙送り]キーを押し続けます。



⑤「用紙排出口」から複写ロールペーパーの先端が出てきます。
用紙が 20cm位出るまで[紙送り]キーを押し続けます。



⑥「用紙排出口」から出た複写ロールペーパーは、手前側が「レシート用紙」で、後側が「ジャーナル用紙」です。



⑦付属品の「ジャーナル巻き取りホルダー」の溝に、ジャーナル用ペーパーの先端を2〜3回巻き付け、巻き取りホルダーを「ホルダー受け」にセットします。



⑧ レシート用ペーパーを片手で持ち、[紙送り]キーを押して用紙のタルミを取り除きます。



⑨プリンターカバーの「印字確認窓」にレシート用ペーパーの先端を通します。



⑩プリンターカバー前面のツメを所定の穴に入れてからカバーを閉じ、余分なペーパーを切り取って完了です。

ご注意

●複写ロールペーパーは、必ず当社指定のペーパー**(CP-5880)**をご使用ください。
●複写ロールペーパーを取り付ける場合は、ペーパーの上下(1枚目と2枚目)をまちがえないようにご注意ください。
●複写ロールペーパーは、高温多湿を避け、風通しのよい場所に保管してください。
●複写ロールペーパーを使用する場合は、必ず**「レシートとして使用」**するに設定してください。

一日の仕事の流れと基本的な操作

開店前

●差し込みプラグがコンセントに確実に差し込まれているか、確認します。

●ロールペーパーが充分にあるか、確認します。

●毎朝開店前に、日付と時刻の確認をします。

【時刻・日付の表示】… 20ページ

●釣銭用の小銭をドロアーに用意します。

【入金の仕方】… 37ページ

営業中

●商品の売上を登録します。

単品売り／数点売り／リピート登録／
乗算登録／つり銭計算／両替／訂正　その他

【各種登録の仕方】… 17 ～ 24ページ

●必要に応じて、売上の確認をします。

【点検の仕方】… 47ページ

閉店後

●一日の売上を打ち出します。

【精算の仕方】… 25ページ

●ドロアー内のお金を取り出します。

●モードスイッチを**「OFF」**にします。

レシート／ジ

●ロールペーパーには、レジ操作した
●印字済みペーパーは通常**「レシー**
●レシートが必要ない場合は、**「レシ**
●印字済みペーパーを**「ジャーナル**
方法をジャーナルとして使う場合(

レシート例
外税(ご購入時)の場合

お買上票
毎度ありがとうございます

96-11-18
09-23
レジ番号（マシンNo.） 0123 0008
部門番号 02 •5,780
01 •360
01 •360
01 •360
10 X
•128 @
04 •1,280
PLU番号 027 •880
-100
04 •850
03 •3,000
•12,770小
5 % -
- 639*
•12,131外 計
•363外 税
•12,494 計
•15,000現 預
•2,506釣
17 No

ャーナルの見方(外税、内税、非課税での印字のちがい)——

内容が印字されますが、外税、内税、非課税の課税状況により、印字内容が異なります。
ト」としてお客様にお渡しします。
ート発行停止」にすることができます。(⇒ 7ページ)
(営業記録)」としてお店に保管する場合は、事前にジャーナルに設定し(⇒ 62ページ)、ペーパーの取り付け ⇒ 13ページ)にする必要があります。

ご注意 ●記載されている印字例は、印刷のため、行間、字間、書体が実物とは異なります。
(本書に記載されているほかの印字例も、すべて同様です)

レシート例
内税の場合

お買上票
毎度ありがとうございます

項目	印字	説明
店名スタンプ (たて10mm ×よこ30mm)	お買上票 毎度ありがとうございます	
日付	96-11-18	
時刻	09-26	
レジ番号/一連番号	0123 0011	
単品登録	02 •5,780内	内税シンボル
リピート登録	01 •360内	
	01 •360内	
	01 •360内	
乗算登録	10 X	数量
	•128 @	単価
	04 •1,280内	金額
PLU 登録	027 •880内	
値引き	-100内	
	04 •850内	
	03 •3,000内	
登録合計	•12,770小	
割引き	5 % -	
	- 639内	
外税対象額	•12,131内 計	内税合計額(税込み)
外税額	•353内 税	内税額
合計	•12,131 計	合計
預かり額	•15,000現 預	預かり額
おつり	•2,869釣	おつり
お買い上げ点数	17 №	

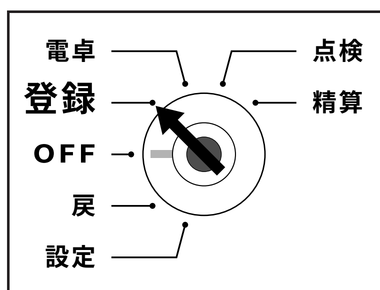
ジャーナル例
課税方法が混在の場合

印字	説明
09-30	時刻
0123 0015	レジ番号/一連番号
02 •5,780	外税商品
01 •360	外税商品
01 •360	外税商品
01 •360	外税商品
10 X	
•128 @	
04 •1,280非	非課税商品
027 •880	
-100	
04 •850非	非課税商品
03 •3,000内	内税商品
•12,770小	合計からの割引き
5 % -	合計からの割引き
- 639*	合計からの割引き
•7,258外 計	外税対象額
•217外 税	外税額
•2,850内 計	内税対象額
•83内 税	内税額
•2,023非 計	非課税計
•12,348 計	合計
•15,000現 預	預かり額
•2,652釣	おつり
17 №	お買い上げ点数

基本的なレジの操作

ここでの説明は、「外税方式」の消費税計算（円未満は「切捨て」）に基づいた操作方法、および、印字用紙を「レシート」としたときの印字例を記載しております。
内税方式や非課税方式およびそれらが混在している場合は、操作方法は変わりありませんが、印字される内容は異なりますのでご注意ください。

●モードスイッチの位置



各種取引の登録は、モードスイッチを**「登録」**の位置に合わせて行ないます。

1 品のお買い上げ　単品売り（単品登録）と釣銭計算

例

単価	数量	部門	預かり金
\1,200	1	部門 1	\2,000

●キー操作　●表示窓

キー操作		表示窓	
1 2 0 0（単価）	1（部門）	01　1.200（部門番号）	登録金額
	小計	1.236 -	合計表示のシンボル／税込み合計金額
2 0 0 0（預かり金額）	現/預	764 _	お釣り金額／お釣り表示のシンボル

●レシート印字例

```
お買上票
毎度ありがとうございます

        96-11-18
           09-33
            0020

01     •1,200
       •1,200外 計
          •36外 税

       •1,236   計
       •2,000現 預
         •764釣
```

ご注意 ●印字例は「レシート」に設定した場合（ご購入時の標準状態）です。以後の印字例も同様ですが、店名スタンプ部分は省略します。
なお、「ジャーナル」に設定した場合は、16ページ「ジャーナル例」のように、「日付」が印字されず、「一連番号」後と「合計」前の「1行分の空き」がなくなります。

2品以上のお買い上げ　数点売りと釣銭計算

例

単価	数量	部門	預かり金
\200	1	部門 3	\2,500
\800	1	部門 2	
\1,000	1	部門 4	

2 0 0 [3]
8 0 0 [2]
1 0 0 0 [4]
[小計]
2 5 0 0 [現/預]

```
96-11-18
   09-35
    0024

03      •200
02      •800
04    •1,000
      •2,000外 計
         •60外 税

      •2,060  計
      •2,500現 預
        •440釣
```


同じ商品を数多くお買い上げ　乗算登録

例

単価	数量	部門	預かり金
\200	12	部門 3	\10,000
\340	4.6	部門 1	

1 2 [×/日時] 2 0 0 [3]
数量 × 単価 部門
4 • 6 [×/日時] 3 4 0 [1]
数量 × 単価 部門
[小計]
[万円] [現/預]

```
96-11-18
   09-41
    0027

      12 X
     •200   @
03  •2,400
     4•6 X
     •340   @
01  •1,564
    •3,964外 計
      •118外 税

    •4,082  計
   •10,000現 預
    •5,918釣
```


ワンポイント
●乗算登録の**「数量」**は**「 0.01 ～ 9999.99 」**です。
●乗算登録は**「数量×単価」**がご購入時の標準状態ですが、**「単価×数量」**とすることもできます。⇒ **32ページ**

同じ商品を複数お買い上げ　リピート登録

例

単価	数量	部門	預かり金
\300	3	部門 2	\2,000
\500	2	部門 4	

● キー操作　● 表示窓

キー操作	表示窓
3 0 0 [2]	02　300
[2]	2　300
[2]	3　300
5 0 0 [4]	04　500
[4]	2　500
[小計]	1.957
2 0 0 0 [現/預]	43

部門番号

リピート回数

96-11-18
09-43
0030

02　•300
02　•300
02　•300
04　•500
04　•500
•1,900外　計
•57外　税

•1,957　計
•2,000現　預
•43釣

ご注意 ●リピート回数は、10回以上のときは下１桁のみの表示となります。

両替を行なう（ドロアーを開ける）　両　替

例 ドロアー（引き出し）を開ける

[#/替]

ドロアーが開きます

96-11-18
09-51
0033

••••••••••　#

ワンポイント ●両替は、登録操作が完了しているときに、数値を入れないで[#/替]キーを押します。

時刻および日付を表示する　時刻・日付表示

●モードスイッチが**「登録」**または**「戻」**の位置で、[×/日時]キーを押すと時刻／日付を表示することができます。(登録の途中では表示できません)　最初は「時刻」表示に、もう一度押すと「日付」表示になり、以後、[×/日時]キーを押すごとに時刻と日付を交互に表示します。

●他の操作を行なう場合は、[C/AC C]キーを押してからはじめます。(「時刻」または「日付」表示のままでは、他の操作が何もできません)

例　「時刻」および「日付」を確認する

● キー操作	● 表示窓
[×/日時] 時刻表示	15-08.（時・分）1秒ごとの点滅
[×/日時] 日付表示	96-11-18（西暦年・月・日）
[×/日時] 時刻表示	15-08.（時・分）1秒ごとの点滅
[C/AC C] 時刻・日付の表示を消す	0

設定ページ
●時刻・日付の修正 ⇒ 53ページ

非課税の商品を登録する　非課税登録

●外税(または内税)の設定のままで**「非課税品」**を登録するときは[非課税]キーを使います。

例

単価	数量	部門	預かり金
\2,800	1	部門 1	\10,000
\5,000(非課税)	1	部門 1	

[2][8][0][0] [1]
[非課税] [5][0][0][0] [1]
非課税品指定
[小計]
[万円] [現/預]

```
96-11-18
   10-07
    0039

01    •2,800
01    •5,000非
      •2,800外 計
        •84外 税
      •5,000非 計

      •7,884   計
     •10,000現 預
      •2,116釣
```

非課税シンボル

ワンポイント
●非課税品の種類が多いお店では、非課税専用の部門キーを設定し、非課税品はその部門に登録します。その場合は、[非課税]キーを押す必要はありません。

設定ページ
●外税／内税／非課税が混在の場合の設定 ⇒ 58ページ

キー操作をまちがえたとき（訂正の仕方）―――

「金額」や「数量」をレジスターに入れるために 1 ～ 9 、 0 および 00 の数字キーを押すことを**《置数》**と言います。
置数は、レジスターの表示窓に入っているだけで、内部の記憶（メモリー）にはまだ入っていません。また、乗算登録で ×/日時 キーを押したときの数量も記憶には入っていません。
置数のあとに、部門キーなどの命令キーを押すと、そのときの金額が記憶に入ります。
記憶に入る前の数値は C キーで、記憶に入ってしまった金額は 訂正/中止 キーで消すことができます。

部門キーを押す前の訂正　　置数訂正

◆ **部門キーを押す前は、すべて C キーで訂正できます。**

例

	単価	数量	部門	預かり金
①	\120	1	部門 1	\3,000
②	\200	5	部門 4	
③	\105	10	部門 2	

上記登録の途中でのまちがい。

① 単価を押しまちがえた

1 2 00（まちがい）（ここが消えます）　C（クリアー）　（正しく操作） 1 2 0（単価）　1（部門）

② 単価を入れて ×/日時 キーを押してしまった（数量をまちがえて ×/日時 キーを押してしまった）

2 0 0（まちがい） ×/日時（ここが消えます）　C（クリアー）　（正しく操作） 5（数量） ×/日時（×） 2 0 0（単価） 4（部門）

③ 乗算で単価をまちがえた

1 0 ×/日時 1 5 0（まちがい）（ここが消えます）　C（クリアー）　（正しく操作） 1 0（数量） ×/日時（×） 1 0 5（単価） 2（部門）

小計　3 0 0 0（預かり金額）　現/預

部門キーを押したあとでの訂正　　直前訂正

■ 部門キーを押した直後は、[訂正/中止]キーで訂正できます。

例

	単価	数量	部門	預かり金
①	\505	1	部門 1	\2,000
②	\230	3	部門 3	

上記登録の途中でのまちがい。

① 単価をまちがえて 部門キーを押してしまった

[5][5][0] [1]（まちがい）（ここが消えます） [訂正/中止]（訂正）　（正しく操作） [5][0][5]（単価） [1]（部門）

② 乗算で単価をまちがえて 部門キーを押してしまった

[3] [×/日時] [2][2][0]（まちがい） [3]（ここが消えます） [訂正/中止]（訂正）

（正しく操作） [3]（数量） [×/日時]（×） [2][3][0]（単価） [3]（部門）

[小計]

[2][0][0][0] [現/預]

```
96-11-18
10-35
0047

01      •550
      - 550   訂
01      •505
         3 X
        •220  @
03      •660
       -660   訂
         3 X
        •230  @
03      •690
     •1,195外 計
        •35外 税

     •1,230   計
     •2,000現 預
        •770釣
```

直前の行の金額を訂正

登録途中の商品すべてを取り消す　　取引中止（一括取消）

■ そのレシートをはじめからやり直すときは、[小計][訂正/中止]で一括取消を行ないます。

例

単価	数量	部門	預かり金
\350	12	部門 2	—
\1,280	1	部門 4	

上記登録の途中で取引中止（一括取消）にする。

[1][2] [×/日時] [3][5][0] [2]
[1][2][8][0] [4]
ここが消えます

[小計][訂正/中止]
取引中止

```
96-11-18
10-41
0049

        12 X
       •350  @
02   •4,200
04   •1,280
•••••••••   * 訂
```

ご注意
●取引中止で[小計]キーを押さないと、最終行の訂正（取消）になります。
●登録品目数が 多くなると（部門登録で 25品目前後、PLU および戻し登録では 12品目前後）、この操作ができなくなります。

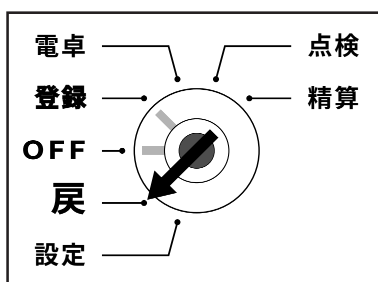
一日の操作

返品戻しと登録終了後の訂正

現/預キーを押して、登録が終了したあとでまちがいに気づいた場合や、商品の返品があった場合などには**《返品戻し処理》**を行ないます。
返品戻し処理には、**《戻しモード返品》**と、**《戻しキー返品》**の 2種類があります。

前日以前に売り上げた商品の返品　戻しモード返品

●モードスイッチの位置



前日以前に売り上げた商品の「返品戻し」は、モードスイッチを**「戻」**の位置に合わせて、売上登録と同じように操作する**《戻しモード返品》**を行ないます。

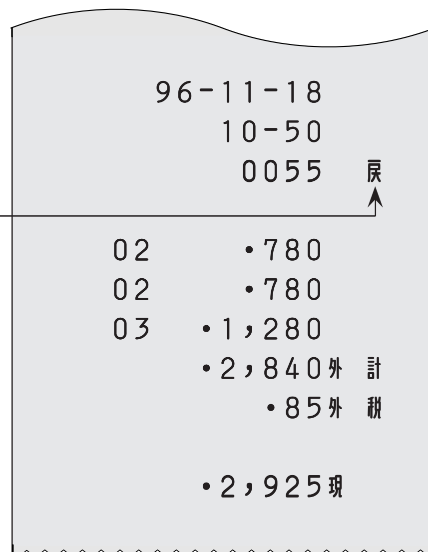
なお、モードスイッチを**「戻」**にすると、表示窓の最上桁に“ ━ ”が表示されます。

例　2日前に売り上げた下記の商品の返品を処理する

単価	数量	部門	戻し金
\780	2	部門 2	現　金
\1,280	1	部門 3	

●モードスイッチ ⇒ **「戻」**

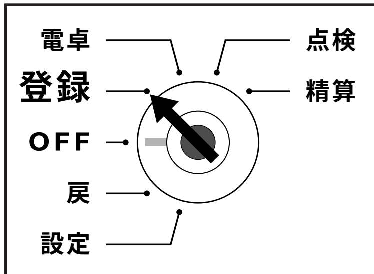
780 [2]
[2]
1280 [3]
[小計]
[現/預]



ご注意 ●戻しモードでの処理が終わったら、モードスイッチを**「登録」**の位置に戻します。

当日売り上げた商品の返品　戻しキー返品

●モードスイッチの位置



その日に売り上げた商品の返品処理は、モードスイッチを**「登録」**のままで［戻］キーを使って**《戻しキー返品》**を行ないます。

また、［現/預］キーを押して登録を完了した後でその登録の誤りに気づいた場合も、**《戻しキー返品》**を行ないます。

例　当日売り上げた以下の商品の返品を処理する

単価	数量	部門	戻し金
\720	1	部門 1	現　金
\1,530	2	部門 3	
\140	5	部門 1	

●モードスイッチ ⇒ **「登録」**

［戻］ 7 2 0 ［1］

部門［1］への返品処理

［戻］ 1 5 3 0 ［3］

［3］

［戻］ 5 ［×/日時］ 1 4 0 ［1］

［小計］

［現/預］

```
  96-11-18
     10-53
      0058

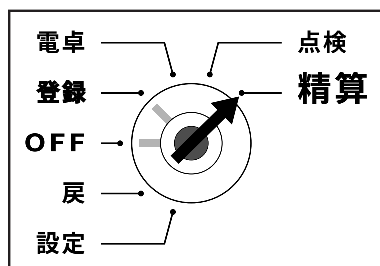
 ..........    戻
01    - 720
 ..........    戻
03   -1,530
 ..........    戻
03   -1,530
 ..........    戻
        5 X
      •140   @
01    - 700
     -4,480外 計
     -  134外 税

     -4,614現
```

閉店後にしていただくこと(精算)

1日の売上の打ち出しとクリアーを行なう

●モードスイッチの位置



閉店後には、精算・設定・オーナー用鍵(PGM)でモードスイッチを**「精算」**の位
モードスイッチを**「精算」**にすると、表示窓の最上桁に“ ⊔ ”が表示されます。

なお、**精算を行ないますと**、時刻、日付、各種設定内容および精算回数を除い

※精算に関しては、50ページ以降にも記載されています。

● 日計明細の精算は、モードスイッチを**「精算」**にして、[現/預]キーを押

●日計明細精算の印字例

印字	説明
96-11-18	日　付
21-08	時刻
0245	一 連 番 号
000　0003Z	操作コード/明細精算回数/精算シンボル
01　505 / •231,217	部門[1]　売上個数 / 売上金額
02　411 / •208,689	部門[2]
03　32 / •14,297	部門[3]
04　13 / •5,283	部門[4]
00　98 / •65,480	部門にリンクしてないPLUの合計　売上個数 / 売上金額
1059 / •524,966 計	総売上　個数 / 金額 ＊1

6	№
•2,228	−
12	№
•4,738%	−
•498,747外	計
•14,872外	税
•13,986内	計
•407内	税
•15,369	税
•5,267非	計
•622	@
179	№
•532,250純	

※集計数値が“ 0 ”の項目は、その項目が印字されません。

各項目間の関係式

●「日計明細」の精算(または点検
で印字される各項目間には以

＊1
総　売　上 = 部門合計　+部門リ

＊2
純　売　上 = 現金売上額 + 貸し
= 総売上 − 値引き −
(=お客様の支払い額

＊3
現金在高 = 現金売上 + 入金合

総売上 − 値引き − 割引き = 外

日計明細の精算

置に合わせて、その日の売上の精算を行ないます。

て、**印字内容が**、印字し終わると同時に**クリアー(ゴハサン)**されます。

します。

値引き { 件数 / 金額
割引き { 件数 / 金額
外税 { 対象額 / 消費税額
内税 { 対象額(税込み) / 消費税額
税額合計(外税＋内税)
非課税額合計
5 円／10 円丸め合計
純売上 { 件数(客数) / 金額 ＊2

171	№	現金売上 件数
•377,650現		現金売上 金額
4	№	貸し売上 件数
•57,600貸		貸し売上 金額
9	№	商品券売上 件数
•97,000	券	商品券売上 金額
2	№	強制解除 件数
•3,590現	@	強制解除 金額
3	№	入金 件数
•27,390入		入金 金額
2	№	出金 件数
•300,000出		出金 金額
8	№	直前訂正 回数
•6,251	訂	直前訂正 金額
2	№	取引中止 件数
•2,536*	訂	取引中止 金額
12	№	戻キー 回数
•9,586	戻	戻キー 金額
3	№	**「戻」**モード 件数
•7,930*	戻	**「戻」**モード 金額
12	#	両替回数
17 *	券	万円札登録枚数
18 現	№	電卓モードの計算回数
•105,040現	#	現金在高 ＊3
•57,600貸	#	貸し売り在高
•97,000	券	商品券在高

)をはじめ、本機の点検／精算(47ページ以降)
下の関係式が成り立っています。

ンクしていない PLU 合計　:個数、金額とも
(部門リンク ⇒ 71ページ)

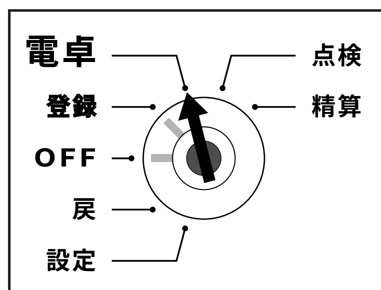
売上 ＋ 商品券売上
割引き ＋ 外税消費税額 － 5円/10円丸め合計
の総合計)

計 － 出金合計 (券売りでおつりがない場合)

税対象額 ＋ 内税対象額 ＋ 非課税額合計

電卓機能の使い方

●モードスイッチの位置



本機は、モードスイッチを**「電卓」**の位置に合わせることにより、いつでも電卓として**「計算」**を行なうことができます。**(印字はされません)**

電卓として計算を行なうときは、モードスイッチを**「電卓」**の位置に合わせます。なお、モードスイッチを**「電卓」**にすると、表示窓の最上桁に“ C ”が表示されます。

通常の計算機(電卓)として　四則計算

例 1　123+456−78= 501

●モードスイッチ ⇒ **「電卓」**

●キー操作　●表示窓

[C/AC C] [C/AC C] (オールクリアー) [1][2][3] [+ 1] (+) [4][5][6] [− 2] (−) [7][8] [現/預 =] (=)　表示：501.

例 2　12.3×4.56×20= 1121.76

[C/AC C] [C/AC C] (オールクリアー) [1][2][・][3] [× 3] (×) [4][・][5][6] [× 3] (×) [2][0] [現/預 =] (=)　表示：1121.76

例 3　789÷45.6= 17.302…

[C/AC C] [C/AC C] (オールクリアー) [7][8][9] [÷ 4] (÷) [4][5][・][6] [現/預 =] (=)　表示：17.302

例 4　(23−56)×963= −31779

[C/AC C] [C/AC C] (オールクリアー) [2][3] [− 2] (−) [5][6] [× 3] (×) [9][6][3] [現/預 =] (=)　表示：-31779.

ご注意
●計算途中や答の整数部が8桁(負数のときは7桁)を超えた場合、および、8桁を越えて数字キーを押した場合はエラーとなり、表示窓の左側に“ E ”を表示後、オールクリアーになります。

ワンポイント
●電卓モード中の数字キーの押しまちがい**(置数訂正)**は、[C/AC C]キーを**1回押して**から正しく入れ直せば訂正できます。[C/AC C]キーを**2回続けて押すとオールクリアー(ゴハサン)**になります。
●計算命令キーは上記のほかに、[−]キーが減算に、[×/日時]キーが乗算に使用できます。
●電卓モード中でも[#/替]キーを押すとドロアーが開きます。

割合や比率などのパーセントを使う計算　パーセント計算

●電卓モード中は[%]キーで以下のような**「パーセント計算」**ができます。

• 割合 1,500円 の 75%(7.5掛)は？……… 1,125円　　$1500 \times \frac{75}{100} = 1125$

●モードスイッチ ⇒ **「電卓」**

[C/AC C][C/AC C] [1][5][0][0] [× 3] [7][5] [%] → 1125.
(オールクリアー) (×) (%)

• 割増し 620円 の 15%増し は？……… 713円　　$620 + (620 \times \frac{15}{100}) = 713$

[C/AC C][C/AC C] [6][2][0] [× 3] [1][5] [%] [+ 1] → 713.
(オールクリアー) (×) (%) (+)

• 割引き 2,300円 の 18%引き は？……… 1,886円　　$2300 - (2300 \times \frac{18}{100}) = 1886$

[C/AC C][C/AC C] [2][3][0][0] [× 3] [1][8] [%] [− 2] → 1886.
(オールクリアー) (×) (%) (−)

• 比率 75個 は 250個 の 何% か？……… 30%　　$\frac{75}{250} \times 100 = 30$

[C/AC C][C/AC C] [7][5] [÷ 4] [2][5][0] [%] → 30.
(オールクリアー) (÷) (%)

• 増減比率① 157万円　は 125万円 の 何%アップ か？…… 25.6%　　$\frac{157 - 125}{125} \times 100 = 25.6$

[C/AC C][C/AC C] [1][5][7] [− 2] [1][2][5] [%] → 25.6
(オールクリアー) (−) (%)

• 増減比率② 540円 は 625円 の 何%引き か？……… 13.6%　　$\frac{540 - 625}{625} \times 100 = -13.6$

[C/AC C][C/AC C] [5][4][0] [− 2] [6][2][5] [%] → - 13.6
(オールクリアー) (−) (%)

• 売価設定 利益を「売価 の 25%」と見込んだとき、
原価(仕入価格)が 1,200円 の 品物の
売価は？…… 1,600円　利益は？…… 400円

100%	
売価：(1,600円)	
原価(仕入価格)：1,200円	利益：(400円)
(100 − 25)%	25%

[C/AC C][C/AC C] [1][2][0][0] [+ 1] [2][5] [%] → 1600.　売価
(オールクリアー) (+) (%)

(続けて) [− 2] → 400.　利益
(−)

税込み額(税抜き額)や税額の計算　　税 金 計 算

●電卓モード中は 貸 キーで以下のような**「税金計算」**ができます。
●税金計算は、「税1 テーブル(通常は「外税」)」に設定されている、税率、計算方式、端数処理方法が使用されますので、設定内容により求められる答えが違ってきます。
●テーブルの設定が外税の場合は「税込み金額」と「外税額」が、テーブルが内税の場合は「税抜き金額」と「内税額」が求められます。

例1 1,500円 の税込み金額と外税額は？(「税1 テーブル」が税率 3%、外税、端数切捨ての場合)

●モードスイッチ ⇒ **「電卓」**

操作	表示	
C/AC C C/AC C (オールクリアー) 1 5 0 0 貸 (税込み額)	1545.	税込み金額
(続けて) 貸 (税額)	45.	外税額

例2 1,500円 の税抜き金額と内税額は？(「税1 テーブル」が税率 3%、内税、端数四捨五入の場合)

操作	表示	
C/AC C C/AC C (オールクリアー) 1 5 0 0 貸 (税抜き額)	1456.	税抜き金額
(続けて) 貸 (税額)	44.	内税額

例3 230円、780円 のそれぞれの外税額の合計は？(「税1 テーブル」が税率 3%、外税、端数切捨ての場合)

操作	表示	
C/AC C C/AC C (オールクリアー) 2 3 0 貸 貸 (外税額) + 1 (+)	6.	230円の外税額
7 8 0 貸 貸 (外税額) 現/預 (=)	29.	税額合計

◆呼び出し機能について

「呼び出し機能」は《ワンタッチのキー操作》で、モードスイッチ**「登録」**時の合計金額を、モードスイッチ**「電卓」**中に持ってきたり、その逆ができる便利な機能です。
この機能を使用すれば、**「割勘計算」**や**「セット単価商品のバラ売り」**などもまちがいなく計算することができます。

●**「呼び出し」**のキーは 入金/CAL キーです。
●電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額(「小計」を押したときに表示される数値)です。
また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答(「イコール」で求められた数値)です。



●小数点以下がある**「電卓」**時の答 を**「登録」**中に持ってきたときは、小数点以下が切捨てられます。
また、**マイナス**や“ **0** ”の答を持ってきた場合は、エラーになります。

操作例は次ページをご覧ください。

登録直後の計算（割り勘にする）　割勘計算

例　以下の商品の合計を 4人で分ける

単価	数量	部門	預かり金
\930	4	部門 2	\10,008
\1240	1	部門 3	

●モードスイッチ ⇒「登録」

4 ×/日時 9 3 0 [2]　→　02　3.720

1 2 4 0 [3]　→　03　1.240

小計　→　5.108⁻　税込み合計金額

1 万円 8 現/預　→　4.900_　お釣り

●モードスイッチ ⇒「電卓」

入金 CAL（呼び出し）　→　5 108.　呼び出された合計金額

÷ 4（÷） 4（4人） 現/預（＝）　→　1277.　1人当たり割り勘額

```
96-11-18
   11-03
    0064

    4 X
  •930   @
02  •3,720
03  •1,240
  •4,960外 計
   •148外 税

  •5,108   計
 •10,008現 預
  •4,900釣
```

登録途中での計算　登録中の計算

例

単価	数量	部門	預かり金
\1,780	1	部門 4	\7,000
\580	1.6 × 5	部門 2	

●モードスイッチ ⇒「登録」

1 7 8 0 [4]　→　04　1.780

●モードスイッチ ⇒「電卓」

1 • 6 × 3（×） 5 現/預（＝）　→　8.　1.6×5 の答

●モードスイッチ ⇒「登録」

入金 CAL（呼び出し） ×/日時（×） 5 8 0（単価） [2]（部門）　→　02　4.640　部門 2 の登録金額

小計　→　6.6 12⁻　税込み合計金額

7 0 0 0 現/預　→　388_　お釣り

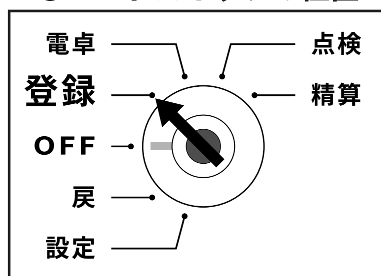
```
96-11-18
   11-05
    0066

04  •1,780
    8 X
  •580   @
02  •4,640
  •6,420外 計
   •192外 税

  •6,612   計
  •7,000現 預
   •388釣
```

電卓機能

●モードスイッチの位置



本機には、便利な機能が豊富に備えられています。
ここでは、機能ごとにその使い方を説明します。

ご注意 機能によっては**《あらかじめ設定》**しなければならないものもありますので、その場合は設定ページをご覧ください。また、印字例も設定内容によっては記載の例と相異していることもあります。

部門キーの便利な使い方

ここでの説明項目

部門キーに単価設定してある商品のお買い上げ　設定単価での登録

例

単価	数量	部門	預かり金
\800(部門キーに設定済み)	1	部門 4	\5,000
\1,200	1	部門 4	
\600	1	部門 1	
\500(部門キーに設定済み)	4	部門 1	

●モードスイッチ ⇒ **「登録」**

[4] 部門(単価設定済)
[1][2][0][0] [4]
[6][0][0] [1]
[4] [×/日時] [1] 部門(単価設定済)
[小計]
[5][0][0][0] [現/預]

```
96-11-18
   11-12
    0072

04      •800
04    •1,200
01      •600
         4 X
        •500  @
01    •2,000
      •4,600外  計
        •138外  税

      •4,738   計
      •5,000現 預
        •262釣
```

ワンポイント ●部門キーに単価が設定されていても、登録の際に新たな単価を入れれば、その単価で登録されます。
この場合、設定されている単価は消えません。

設定ページ ●**部門キーへの単価設定の仕方 ⇒ 54ページ**

数量×単価でなく、単価×数量で登録する　「単価」×「数量」

●ご購入状態（標準仕様）での乗算登録は「数量」×「単価」の計算順ですが、これを「単価」×「数量」の計算順にすることができます。

例

単価	数量	部門	預かり金
\380	8	部門 4	\10,000
\160	5	部門 2	
\500（部門キーに設定済み）	10	部門 1	

3 8 0（単価）　×/日時（×）　8（数量）　4（部門）

1 6 0（単価）　×/日時（×）　5（数量）　2（部門）

×/日時　1 0（数量）　1（部門）

設定単価のときは単価を入れないで押します

小計

万円　現/預

```
96-11-18
   11-15
    0075

      8 X
   •380   @
04 •3,040
      5 X
   •160   @
02 •800
     10 X
   •500   @
01 •5,000
 •8,840外 計
   •265外 税

 •9,105   計
•10,000現 預
   •895釣
```

ご注意

●「単価」×「数量」での登録は、乗算の計算順序をこの方式に設定することにより使える機能で、部門キーを使った登録の場合に使用できます。

●この設定を行なうと、**「 PLU の乗算登録」**と、**「時刻・日付の表示」**ができなくなります。

設定ページ　●**乗算の計算順序の設定 ⇒ 63ページ**

PLU の便利な使い方

◆ PLU とは

PLU(プライス・ルック・アップ)は、あらかじめ決められた商品番号(PLU番号)ごとに商品単価を覚えさせておくことにより、その番号を指定するだけで商品登録を行なうことができる便利な機能です。

通常の商品の登録は、《商品単価を入れて部門キーを押す》ですが、PLU登録は、PLU番号を入れて[PLU]キーを押すせば登録できます。このようにして登録された PLU は、その金額と個数がその PLU に集計されていきますので、PLU ごとの売上状況をつかむことができます。

PLU は全部で 200個ありますので、最大 200種の商品の売上状況を個々につかむことが可能です。

ご注意 ●PLU登録では、事前に商品単価を各PLU に設定しておく必要があります。

設定ページ ●**PLU への単価設定の仕方 ⇒ 54ページ**

◆品番PLU 機能について

PLU は、PLU番号と商品単価を一対一に設定し、「商品の単品管理を行なう」ための機能です。
しかし、同じ商品でありながら単価の違う場合(大、中、小や、色違い等で単価の違う場合)に、その商品単位の売上状況を得るためには、設定されている単価以外の単価で登録する必要があります。
このための機能が「品番PLU 」です。

200個の PLU のうち、任意の PLU に「品番PLU 」を設定しておくことができ、この設定がしてある PLU は、番号を入れて[PLU]キーを押しただけでは登録できず、その後に単価を入れて[金額]キーを押してはじめて登録が行なわれます。(単価を入れずに直接[金額]キーを押せば、設定されている単価で登録できます)

ご注意 ●品番PLU 機能を使用する場合は、事前に PLU に設定しておかなければなりません。

設定ページ ●**PLU への品番PLU の設定 ⇒ 72ページ**

PLU に単価設定してある商品のお買い上げ　PLU登録

例

単価	数量	PLU番号	預かり金
\2,000	1	PLU No. 20	\10,000
\150	12	PLU No. 15	
\1,200	2	PLU No. 109	

操作	表示
2 0 (PLU 番号) PLU	020 2.000 (PLU 番号)
1 2 (数量) ×/日時 (×) 1 5 (PLU 番号) PLU	015 1.800
1 0 9 (PLU 番号) PLU	109 1.200
PLU (リピート 登録)	2 1.200 (リピート回数)
小計	6.386 (税込み合計金額)
万円 現/預	3.614 (お釣り)

```
96-11-18
   11-25
    0077

020   2,000
       12 X
       •150   @
015   1,800
109   1,200
109   1,200
     •6,200外 計
       •186外 税

     •6,386  計
    •10,000現 預
     •3,614釣
```

品番PLU を使って登録する　品番PLU登録

例

単価	数量	PLU番号	預かり金
\850	2	No. 33（品番PLU 設定済み）	\6,500
\760	5	No. 8（品番PLU 設定済み）	
\480（単価設定済み）	1	No. 23（品番PLU 設定済み）	

操作	表示
3 3 (PLU 番号) PLU 8 5 0 (単価) 金額	033 850 (PLU 番号)
金額 (リピート 登録)	2 850 (リピート回数)
5 (数量) ×/日時 (×) 8 (PLU 番号) PLU 7 6 0 (単価) 金額	008 3.800
2 3 (PLU 番号) PLU 金額 (設定単価使用)	023 480
小計	6.159 (税込み合計金額)
6 5 0 0 現/預	341 (お釣り)

```
96-11-18
   11-27
    0079

033    •850
033    •850
        5 X
       •760   @
008   3,800
023    •480
     •5,980外 計
       •179外 税

     •6,159  計
     •6,500現 預
       •341釣
```

便利な操作

各キーの便利な使い方

ここでの説明項目

伝票番号や商品コードを印字する　ノンアド印字

●集計に関係ない数値（伝票番号、商品コード、お客様番号、クレジット番号など）を印字する場合は、その数値（最大 8桁）を入れたあとで[#/替]キーを押します。これを**《ノンアド印字》**と言います。

例　お客様番号〈**1001**〉に、下記の商品を売り上げる

単価	数量	部門	預かり金
\1,230	1	部門 1	\20,000
\3,500	1	部門 4	
\8,800（商品コード **33474830**）	1	部門 2	

[1][0][0][1] [#/替]
お客様番号のノンアド印字

[1][2][3][0] [1]

[3][5][0][0] [4]

[3][3][4][7][4][8][3][0] [#/替]
商品コードのノンアド印字

[8][8][0][0] [2]

[小計]

[2] [万円] [現/預]

```
        1001   #
    96-11-18
       11-40
        0084

01    •1,230
04    •3,500
    33474830   #
02    •8,800
   •13,530外 計
      •405外 税

   •13,935   計
   •20,000現 預
    •6,065釣
```
ノンアド印字

万円キーの使い方 　　[万円]キー

●[万円]キーは、預かり金だけでなく、金額登録時にも使用できます。

例

単価	数量	部門	預かり金
\10,000	1	部門 3	\40,015
\20,500	1	部門 4	

[万円] [3]
[2] [万円] [5] [0] [0] [4]
[小計]
[4] [万円] [1] [5] [現/預]

```
        96-11-18
           11-44
            0086

03   •10,000
04   •20,500
     •30,500外 計
        •915外 税

     •31,415   計
     •40,015現 預
      •8,600釣
```


ワンポイント ●預かり金処理で[万円]キーを使うと、点検・精算のときに、「一万円札」の枚数が印字されます。

必要なときだけレシートを発行する 　　後レシート発行

●印字用紙が**《レシート》**になっている場合は、レシート発行を**「停止」**で使用していても、[後レシート]キーを押せばレシートを発行することができます。

例 レシート発行を**「停止」**中に、下記の登録後にレシートを求められた。

単価	数量	部門	預かり金
\150	5	部門 3	\1,500
\550	1	部門 1	

[5] [×/日時] [1] [5] [0] [3]
[5] [5] [0] [1]
[小計]
[1] [5] [0] [0] [現/預]
[後レシート]
後レシートの発行

●後レシート印字例

```
        96-11-18
           11-47
            0088

             5 X
          •150   @
03        •750
01        •550
      •1,300外 計
          •39外 税

      •1,339   計
      •1,500現 預
        •161釣
```

ご注意 ●後レシートは、日付の行を含めて26行以上の場合、合計だけの印字になります。
●レシート発行が**「発行」**のとき、および、印字用紙が**《ジャーナル》**に設定されている場合は、後レシート発行はできません。

便利な操作

売上とは関係ない現金をドロアーに入れる　入　金

 「釣銭用」として、8,000円を補充する。

8 0 0 0 [入金]

●入金レシート印字例

```
96-11-18
   11-52
    0091

 •8,000入
```

ワンポイント
●貸し売り代金の受取や、釣銭用小銭の補充など、売上ではない入金で**「現金をドロアーに入れたいとき」**には、その金額を**「入金」**として処理します。
これにより、「点検・精算」時に、ドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。

売上とは関係ない現金をドロアーから出す　出　金

 「一万円札」15枚を金庫に移す。

1 5 [万円] [出金]

●出金レシート印字例

```
96-11-18
   12-04
    0098

•150,000出
```

ワンポイント
●集金や、ドロアーが一杯になったときなど、売上(お釣りや両替)とは関係なく**「現金をドロアーから出したいとき」**には、その金額を**「出金」**として処理します。
これにより、「点検・精算」時に、ドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。

値引きを行なう　　値引き

例

単価	数量	部門	値引き金額	預かり金
\1,000	1	部門 2	\500	\5,000
\2,500	1	部門 3		

1000 [2]
2500 [3]
500 [－]　500 円の値引き
[小計]
5000 [現/預]

```
96-11-18
   12-18
    0102

02    •1,000
03    •2,500
      -  500
      •3,000外 計
         •90外 税

      •3,090   計
      •5,000現 預
      •1,910釣
```


税込み合計から端数値引きを行なう　　課税後値引き

例　下記の登録後に、100円未満の端数を値引きする

単価	数量	部門	値引き金額	預かり金
\12,300	1	部門 1	(\93)	\35,000
\20,800	1	部門 4		

操作	表示	
12300 [1]	01 12.300	
2 [万円] 800 [4]	04 20.800	
[小計]（税込み合計を見る）	34.093	税込み合計金額
[非課税]（必ず押します） 93（端数金額） [－]（値引き）	-93	値引き金額
[小計]	34.000	値引き後合計金額
3 [万円] 5000 [現/預]	1.000	お釣り

```
96-11-18
   12-19
    0103

01  •12,300
04  •20,800
       -93非
    •33,100外 計
       •993外 税
       -93非 計

    •34,000   計
    •35,000現 預
     •1,000釣
```


ワン ポイント

●課税後値引き（端数値引き）では、値引き額の税金をなくすために**「非課税」**で値引きを行ないます。

それぞれの商品金額から割引きをする　個々の割引き

例

単価	数量	部門	割引き率	預かり金
\1,000	1	部門 2	5%（設定済み）	\5,000
\2,500	1	部門 3	7.5%	

1 0 0 0 [2]

[%]
5%（設定済）割引き

2 5 0 0 [3]

7 • 5 [%]
7.5% 割引き

[小計]

5 0 0 0 [現/預]

```
     96-11-18
        12-20
         0105

02     •1,000
          5  % -
          -50
03     •2,500
         7•5  % -
        - 188
       •3,262外 計
          •97外 税

       •3,359  計
       •5,000現 預
       •1,641
```

ワンポイント ●[%]キーには、あらかじめ「割引き率」を設定しておくことができます。また、割引き計算の円未満の端数は、標準では「四捨五入」ですが、「切上げ」または「切捨て」にすることもできます。

設定ページ
●[%]キーへの割引き率の設定 ⇒ 55ページ
●[%]キーの端数処理方法の設定 ⇒ 68ページ

合計金額から割引きをする　合計からの割引き

例

単価	数量	部門	割引き率	預かり金
\1,000	1	部門 2	10%	\5,000
\2,500	1	部門 3		

1 0 0 0 [2]

2 5 0 0 [3]

[小計]
合計からの割引きのときは必ず押します

1 0 [%]

[小計]

5 0 0 0 [現/預]

```
     96-11-18
        12-22
         0106

02     •1,000
03     •2,500
       •3,500小
         10  % -
        - 350*
       •3,150外 計
          •94外 税

       •3,244  計
       •5,000現 預
       •1,756釣
```

便利な操作

合計金額に割増しをする　　合計への割増し

例

単価	数量	部門	割引き率	預かり金
\1,000	1	部門 2	10%	\5,000
\2,500	1	部門 3		

1 0 0 0 [2]
2 5 0 0 [3]
[小計]
合計への割増しのときは必ず押します
1 0 [%]
[小計]
5 0 0 0 [現/預]

```
96-11-18
12-25
0108

02    •1,000
03    •2,500
      •3,500小
        10   %
        •350
      •3,850外 計
        •115外 税

      •3,965  計
      •5,000現 預
      •1,035釣
```

ワンポイント

- [%]キーは、標準では「割引き」に設定されていますので、「割増し」が必要な場合は、設定変更をしてください。
- 割増し計算の円未満の端数処理方法も「割引き」と同じように、「四捨五入」(標準)、「切上げ」または「切捨て」に設定することができます。
- また、[%]キーには、「割引き」と同じようにあらかじめ「割増し率」を設定しておくこともできます。

設定ページ

- **[%]キーの役割および端数処理方法の設定 ⇒ 68ページ**
- **[%]キーへの割増し率の設定 ⇒ 55ページ**

便利な操作

登録中に何行か前のまちがいを訂正する　さかのぼり訂正

●［戻］キーは「当日返品」（ 24ページ参照）に使用しますが、登録途中で何行か前の登録を訂正したい場合（これを**「さかのぼり訂正」**と言います）にも使用できます。



単価	数量	部門	預かり金
\960	1	部門 2	\4,000
\2,800	1	部門 4	

［9］［9］［0］［2］
まちがい

［2］［8］［0］［0］［4］

（まちがいに気づいた）

［戻］［9］［9］［0］［2］
部門［2］への戻し処理

（正しく操作）［9］［6］［0］［2］

［小計］

［4］［0］［0］［0］［現/預］

```
      96-11-18
         12-26
          0109

02        •990
04      •2,800
•••••••••        戻
02       - 990
02        •960
        •3,760外 計
          •112外 税

        •3,872   計
        •4,000現 預
          •128釣
```

訂正分の印字

ワンポイント ●さかのぼり訂正は、［戻］キーを押したあとに、まちがえた登録内容をそのまま操作し、改めて正しく入れ直します。

設定されている制限桁数を解除する　金額桁数制限の解除

●大きな金額での登録ミスを少なくするために、部門キーにあらかじめ「登録できる最大金額の桁数」を設定しておくことができます。
登録中に［桁解除］キーを押すと、一時的にその桁数以上の金額を入れることができます。

例

単価	数量	部門	預かり金
\580	1	部門 1	\4,000
\3,800	1	部門 1	
\1,200	4	部門 1	

【部門１キーに「桁数制限 3」が設定されている場合】

［5］［8］［0］［1］

［3］［8］［0］［0］［1］
エラーになり、その後、自動解除

［桁解除］［3］［8］［0］［0］［1］

［4］［×/日時］［1］［2］［0］［0］［1］
エラーになり、その後、自動解除

［桁解除］［4］［×/日時］［1］［2］［0］［0］［1］

［小計］

［万円］［現/預］

```
   96-11-18
      12-27
       0111

01      •580
01    •3,800
         4 X
      •1,200
01    •4,800
      •9,180外 計
        •275外 税

      •9,455  計
     •10,000現 預
        •545釣
```


ワンポイント ●［桁解除］キーは、部門キーを押すまでの間であれば、置数の途中に押しても有効です。

設定ページ ●部門キーの金額桁数制限の設定 ⇒ 69ページ

いろいろな締め操作

端数の10円未満を自動値引きする　5円丸め/10円丸め

●消費税を含んだ合計金額を、「 5円単位」または「 10円単位」に丸めて《自動値引き》することができます。


〈 10円未満の端数値引き〉で、下記の商品を売り上げる

単価	数量	部門	預かり金
\1,280	1	部門 4	\10,400
\1,580	1	部門 3	
\2,380	1	部門 1	

1 2 8 0 [4]
1 5 8 0 [3]
2 3 8 0 [1]
[小計]
[万円] 4 0 0 [現/預]

96-11-18
12-30
0113

04　•1,280
03　•1,580
01　•2,380
•5,240外 計
•157外 税

丸め前の金額　•5,397小
丸め値引き額　-7
丸め後の金額　•5,390 計
•10,400現 預
•5,010釣


ワンポイント
●「5円丸め」は、１円の位が「１～４→０円」に、「５～９→５円」に丸められます。
●「 10円丸め」は「１～９→０円」に丸められます。
●どちらの場合も、丸められた差額が「自動値引き」されて、印字されると同時に「丸め合計」に集計されます。なお、差額がないときは印字は行なわれません。


設定ページ
● 5円丸めまたは10円丸めの設定 ⇒ 55ページ

便利な操作

貸し売り(掛け売り)で売上をする　　貸し売り処理

●貸し売り(掛け売り)で売上を行なう場合は、[貸]キーを押します。

例 下記の商品を〈掛け〉で売る

単価	数量	部門	預かり金
\1,500	4	部門 1	なし
\5,500	1	部門 2	

4 [×/日時] 1 5 0 0 [1]
5 5 0 0 [2]
[小計]
[貸]
貸し売り

```
        96-11-18
           12-35
            0116

              4X
       •1,500   @
01     •6,000
02     •5,500
      •11,500外 計
         •345外 税

      •11,845貸
```

貸し売り

ご注意 ●貸し売りでの**「預かり金処理」**はできません。

商品券で売上をする　　券売り処理

●商品券(券売り)で売上を行なう場合は、[券]キーを押します。

例 下記の商品を 50,000円の〈商品券〉で売る

単価	数量	部門	預かり金
\24,200	2	部門 3	\50,000 の商品券

2 4 2 0 0 [3]
[3]
[小計]
5 [万円] [券]
券売り

```
        96-11-18
           12-37
            0118

03    •24,200
03    •24,200
      •48,400外 計
       •1,452外 税

      •49,852   計
      •50,000   券
         •148釣
```

《券売り》の預かり額

便利な操作

現金と商品券などを組み合わせて売上をする　分割処理

●登録を終了するときに、現/預、貸、券キーのどれかを押しますが、1つのキーだけでの終了でなく、一部現金売り、一部貸し売りなどのように「合計金額を分割して」処理を行なうことができます。

例 下記の商品を「 預かり金」の欄のように分割処理で売る

単価	数量	部門	預かり金
\2,350	1	部門 3	商品券 \5,000 現　金 \1,500
\3,820	1	部門 1	

● 表 示 窓

操作	表示窓	
2 3 5 0 [3]	03　2.350	
3 8 2 0 [1]	01　3.820	
[小計]	6.355	税込み合計
5 0 0 0 [券] 《商品券》での売上分	1.355	商品券分を引いた残額
1 5 0 0 [現/預] 《現金》の預かり額	145	おつり

```
96-11-18
   12-43
    0122

03    •2,350
01    •3,820
      •6,170外 計
        •185外 税

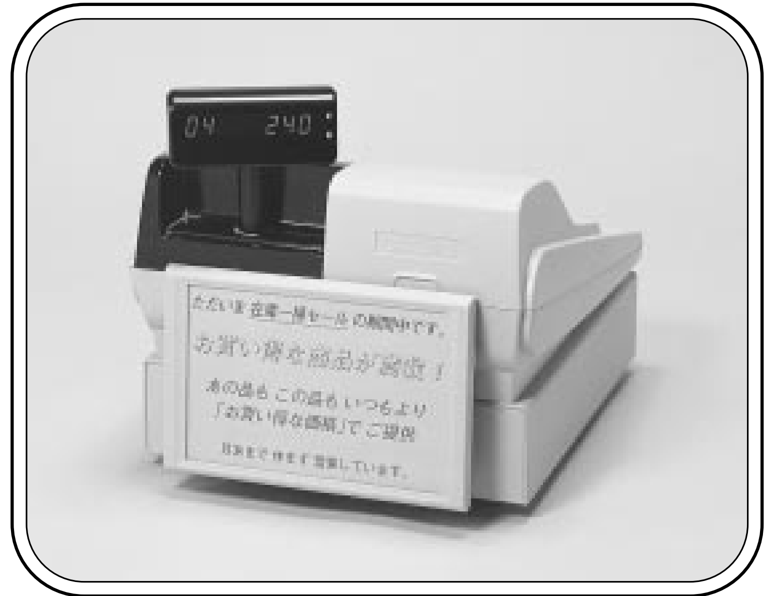
      •6,355  計
      •5,000  券
      •1,500現 預
        •145釣
```

おつり
現金預かり額
商品券分

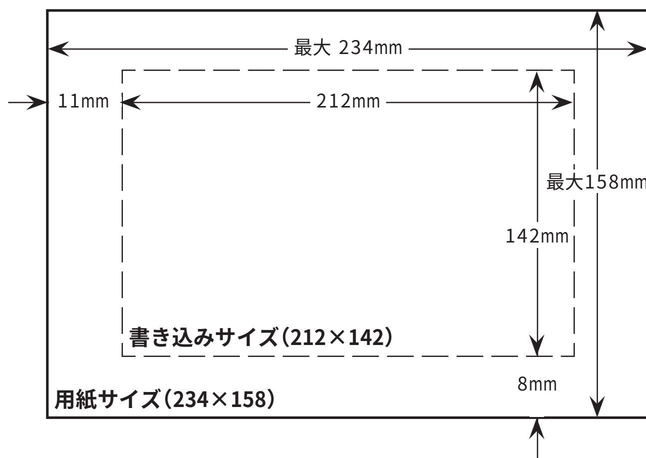
ご注意 ●貸し売りのともなう**「分割処理」**は、貸し売りの操作を最後に行なってください。（貸キー直前の金額入力ができないため）

背面広告板の使い方

本機の背面には、お店の「イベント」や「ＰＲ」をお客様にお知らせできる《背面広告板》が付いています。板面の用紙は簡単に取り換えができますので、常にホットな情報をお客様に知らせることができます。



◆用紙の大きさ：



◆用紙の厚さ：最大 0.5mm

◆用紙の入れ方と取り出し方：

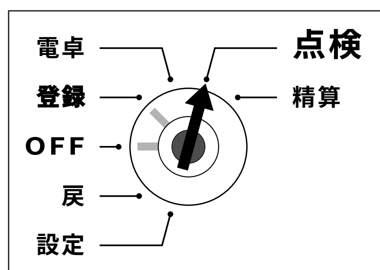
写真のようにパネルの上面を開いて用紙をセットします。



背面広告板

点検（売上内容の確認）の仕方

●モードスイッチの位置



点検をしたい場合には、モードスイッチを**「点検」**の位置に合わせます。なお、モードスイッチを**「点検」**にすると、表示窓の最上桁に“ ”が表示されます。

点検は、売上合計や現金在高、時間帯別合計などを**「確認したい」**ときに行なう操作です。（点検では今までの合計は消えません）
なお、点検の印字シンボルは“ **X** ”です。

売上の明細（部門別、締め種別、入出金など）を確認する　日計明細の点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**
●キー操作 ⇒ [現/預]キーを押します。

●印字例は「日計明細の精算」（ 25ページ ）を参照してください。

点検・精算

いくつかの部門の売上を確認する　部門個別点検

例　部門 1、3、4 の売上金額を確認する

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

[1] [3] [4]
知りたい部門のキーを押します

[小計]
最後に必ず押します

●部門個別点検の印字例

印字		説明
96-11-18		日　付
13-45		時　刻
0169		一 連 番 号
X		点検シンボル
01	218	部門[1] 個　数
	•95,753	部門[1] 金　額
03	13•6	部門[3]
	•6,957	部門[3]
04	5	部門[4]
	•2,523	部門[4]
••••••••••		
	236•6	点検分の合計 個 数
	•105,233 計	点検分の合計 金 額

それまでの売上合計と現金在高を確認する　売上／在高点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ [X/日時]キーを押します。

●売上／在高点検の印字例

96-11-18	日付	
16-47	時刻	
0203	一連番号	
X	点検シンボル	
613	総売上	個数
•305,587 計		金額
95 No	純売上	件数(客数)
•311,570 純		金額
•162,830 現 #	現金在高	
•3,740 貸 #	貸し売り在高	
•25,000 券	商品券在高	

特定の PLU の売上を確認する　PLU 個別点検


PLU番号 11、12、13、100 の売上金額を確認する

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

[1] [1] [PLU]
知りたい PLU番号

[PLU]
PLU番号が続いている場合

[PLU]

[1] [0] [0] [PLU]

[小計]
最後に必ず押します

● PLU 個別点検の印字例

96-11-18	日付	
13-52	時刻	
0172	一連番号	
X	点検シンボル	
011　8	PLU番号 11	個数
•880		金額
012　10	PLU番号 12	
•1,200		
013　4	PLU番号 13	
•520		
100　17	PLU番号100	
•1,700		
••••••••••		
39	点検分の合計	個数
•4,300 計		金額

点検・精算

時間帯別の売上集計を確認する　　時間帯別集計の点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ 2 現/預 と押します。
時間帯別集計の操作コード

※「時間帯別集計」は、どの時間帯に売上が集中しているかを知ることができます。

●印字例は「時間帯別集計の精算」(51ページ)を参照してください。

期間集計 1 を確認する　　期間集計 1 の点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ 1 0 0 現/預 と押します。
期間集計 1 の操作コード

※「期間集計1 」は、ある期間分(週単位や月単位など)の**「登録の明細」**を知ることができます。

●印字例は「日計明細の精算」(25ページ)を参照してください。

期間集計 2 を確認する　　期間集計 2 の点検

●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ 2 0 0 現/預 と押します。
期間集計 2 の操作コード

※「期間集計2 」は、期間集計1 とは異なる期間(キャンペーン期間中または、半期単位や年単位など)の**「登録の明細」**を知ることができます。

●印字例は「日計明細の精算」(25ページ)を参照してください。

PLU の登録内容を全部 確認する　　PLU の全点検

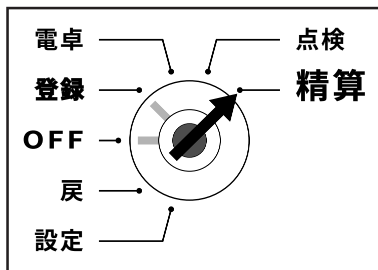
●モードスイッチ ⇒ **「点検」**

●キー操作 ⇒ 1 現/預 と押します。
PLU 集計の操作コード

●印字例は「 PLU の全精算」(次ページ)を参照してください。

精算(集計データの印字とクリアー)の仕方 ——

●モードスイッチの位置



精算は、期間満了日の営業終了後に、精算・設定用鍵(PGM)でモードスイッチを**「精算」**の位置に合わせて行ないます。
なお、モードスイッチを**「精算」**にすると、表示窓の最上桁に"ᒥ"が表示されます。

■日計明細の精算は 25ページをご覧ください。

PLU の売上内容を精算する　　PLU の全精算

●モードスイッチ ⇒ **「精算」**

●キー操作 ⇒ 1 現/預 と押します。

PLU集計の操作コード

● PLU 全精算の印字例

印字	説明
96-12-29	日付
20-15	時刻
6154	一連番号
001　0003Z	操作コード/PLUの精算回数/精算シンボル
001　162 •35,316	PLU番号 1 {個数 / 金額}
002　204 •64,827	PLU番号 2
003　126 •38,358	PLU番号 3
004　8 •9,944	PLU番号 4
005　141 •57,252	PLU番号 5
140　10 •26,800	PLU番号 140 {個数 / 金額}
151　4 •11,520	PLU番号 151
169　8 •27,040	PLU番号 169
170　5 •590	PLU番号 170
195　6 •16,080	PLU番号 195
198　12 •29,760	PLU番号 198
200　7 •10,850	PLU番号 200
• • • • • • • • •	
4163 •1872,484　計	PLU 総合計 {個数 / 金額}

※集計数値のない PLU は印字をスキップします。

点検・精算

時間帯別の売上を精算する　時間帯別集計の精算

●モードスイッチ ⇒ **「精算」**

●キー操作 ⇒ 2 現/預 と押します。

時間帯別集計の操作コード

●時間帯別集計精算の印字例

印字		説明
96-11-30		日　付
21-26		時　刻
2536		一連番号
002　0004Z		操作コード/精算回数/精算シンボル
07-08		時間帯 07:00～08:00
13	No	売上件数(客数)
•30,230		純売上金額
08-09		時間帯 08:00～09:00
35	No	売上件数(客数)
•107,380		純売上金額
09-10 / 123 / •339,940	No	時間帯 09:00～10:00
10-11 / 307 / •918,350	No	時間帯 10:00～11:00
11-12 / 346 / •998,030	No	時間帯 11:00～12:00
12-13 / 420 / •1354,460	No	時間帯 12:00～13:00
13-14 / 417 / •1293,190	No	時間帯 13:00～14:00
14-15 / 476 / •1332,340	No	時間帯 14:00～15:00

印字		説明
15-16		時間帯 15:00～16:00
705	No	売上件数(客数)
•2024,280		純売上金額
16-17 / 839 / •2579,220	No	時間帯 16:00～17:00
17-18 / 1053 / •3093,710	No	時間帯 17:00～18:00
18-19 / 532 / •1401,270	No	時間帯 18:00～19:00
19-20 / 294 / •974,990	No	時間帯 19:00～20:00
20-21 / 186 / •532,040	No	時間帯 20:00～21:00
21-22 / 24 / •73,340	No	時間帯 21:00～22:00
22-23 / 2 / •5,880	No	時間帯 22:00～23:00
••••••••••		
5773	No	時間帯総合計 件数(客数)
•17058,650	計	時間帯総合計 純売上金額

※集計数値のない時間帯は印字をスキップします。

期間集計 1 の売上を精算する　期間集計 1 の精算

●モードスイッチ ⇒「精算」

●キー操作 ⇒ 1 0 0 現/預 と押します。
期間集計 1 の操作コード

●期間集計1 の印字例は、「日計明細の精算」（ 25ページ ）を参照してください。
（精算シンボルの部分が右のようになり、それ以外の各項目は変わりありません）

ご注意 ●個数または件数が4桁を越えた場合、および、金額が8桁を越えた場合は、越えた頭の部分が印字されません。

●期間集計1の精算の印字例
（最初の部分のみ）

```
      96-11-30   ── 日付
         21-29   ── 時刻
          2538   ── 一連番号

100      0004Z   ┐ 操作コード/精算回数/精算シンボル
             Z   ┘ （期間集計の場合は、2行に印字されます）

01        1784   ┐ 部門1 { 個数
 •1136,498       ┘        { 金額
02        2016   ┐ 部門2 { 個数
  •937,835       ┘        { 金額
```

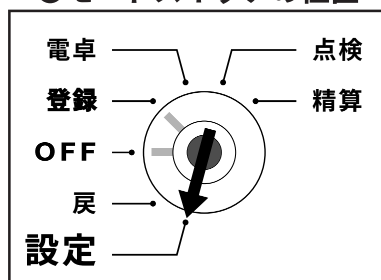
以下省略します

期間集計 2 の売上を精算する　期間集計 2 の精算

●モードスイッチ ⇒「精算」

●キー操作 ⇒ 2 0 0 現/預 と押します。
期間集計 2 の操作コード

●期間集計2 の印字例は、上記および、「日計明細の精算」(25ページ)を参照してください。



各種の設定は、精算・設定・オーナー用鍵（**PGM**）でモードスイッチを**「設定」**に合わせて操作します。
モードスイッチを**「設定」**にすると、表示窓の最上桁に“ P ”が表示されます。

時刻・日付のセット（修正）

時刻をセットする　時刻の設定

●時刻に「遅れ」や「進み」がでたときや、電池を交換したときには、時刻をセットします。

例　午後 1 時 05 分に合わせる場合

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**



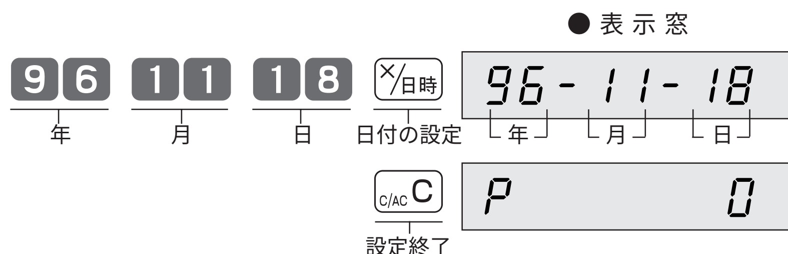
ご注意
●時刻は 24 時間制で入れます。(00 ～ 23)
●時と分は必ず 2 桁ずつ入れます。(0 ～ 9 → 00 ～ 09)

日付をセットする　日付の設定

●電池を交換したときには、必ず、日付をセットします。

例　1996 年 11 月 18 日に合わせる場合

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**



ご注意
●年は「西暦年」の下 2 桁を入れます。(1997 → 97)
●月と日は必ず 2 桁ずつ入れます。(1 ～ 9 → 01 ～ 09)

設定の仕方

部門単価、PLU単価の設定

商品単価を部門キーに設定する　部門単価設定

例 部門キーに下記の単価をそれぞれ設定する

部門	単価
部門 1	\100
部門 2	\220
部門 4	\1,100

●モードスイッチ ⇒「設定」

1 0 0 [1]（設定単価／部門）

2 2 0 [2]

1 1 0 0 [4]

[小計]（設定終了）

●部門単価設定の印字例

```
01        •100外 @
02        •220外 @
04      •1,100外 @
```

部門番号　設定単価　課税方式（56ページ参照）



ワンポイント ●単価は最大6桁（999,999円）まで設定できます。（単価設定した場合の登録の操作例は31ページ）

商品単価を PLU に設定する　PLU単価設定

例 PLU に下記の単価をそれぞれ設定する

PLU番号	単価
PLU番号 1	\210
PLU番号 2	\220
PLU番号 3	\230
PLU番号 10	\300

●モードスイッチ ⇒「設定」

1 [PLU] 2 1 0 [現/預]（PLU番号／単価設定）

2 2 0 [現/預]

2 3 0 [現/預]

1 0 [PLU] 3 0 0 [現/預]

[小計]（設定終了）

● PLU 単価設定の印字例

```
001       •210外 @
002       •220外 @
003       •230外 @
010       •300外 @
```

PLU番号　設定単価　課税方式（56ページ参照）



ワンポイント ● PLU番号が続いているときは、いちいち番号を入れる必要はありません。
●単価は最大6桁（999,999円）まで設定できます。（PLU を使用した登録の操作例は34ページ）

設定の仕方

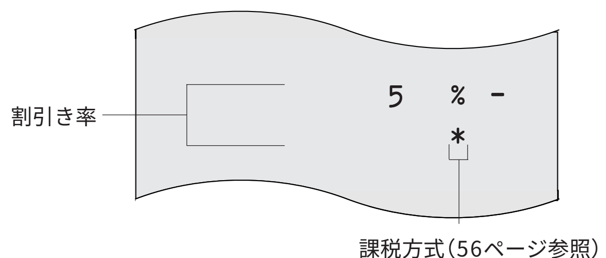
割引き率（割増し率）の設定

割引き率（割増し率）を ％ キーに設定する　割引き率（割増し率）設定


割引き率を以下のように設定する

設定キー	率
％キー	割引き率 5 ％

●割引き率設定の印字例



●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

5 ％
割引き率の設定

小計
設定終了

ワンポイント
●率は 0.01％ ～ 99.99％まで設定できます。小数点の位置では • キーを押します。
（割引き率を設定した場合の操作例は 39ページ）
●％ キーが「割増し」に設定されている場合の「割増し率」の設定も上記操作です。

設定ページ ●％ **キーの働き等設定 ⇒ 68ページ**

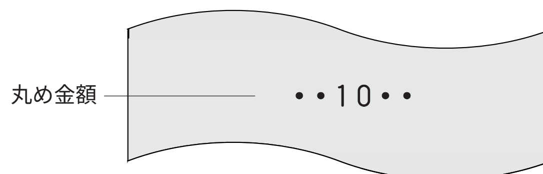
5円丸め、10円丸めの設定

5円丸めまたは 10円丸めを設定する　5円丸め、10円丸め設定


10円丸めを設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

● 10円丸め設定の印字例



1 0 －
丸め金額　丸めの設定

小計
設定終了



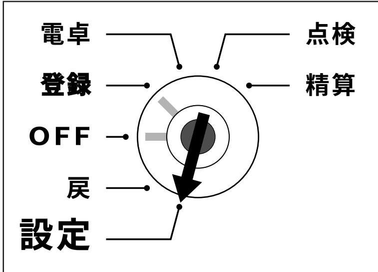
ワンポイント
●丸め金額を“ **10** ”にすると**「10円丸め」**になり、“ **5** ”を入れると**「5円丸め」**になります。
●丸め金額を“ **0** ”にすると丸めは行なわれません。ご購入時は“ **0** ”になっています。
（5円丸め/10円丸めの操作例は 43ページ）

設定の仕方

消費税の課税方式の設定

モードスイッチを**「設定」**にすると[出金]キーが**「外税指定」キー**に、[入金]キーが**「内税指定」キー**に、[#/替]キーが**「非課税指定」キー**になり、これらのキーと部門キーを押すか、必要な PLU番号を指定するだけで、簡単に課税方式の設定ができます。

●モードスイッチの位置



精算・設定・オーナー用鍵(PGM)でモードスイッチを**「設定」**に合わせます。モードスイッチを**「設定」**にすると、表示窓の最上桁に“P”が表示されます。その後、それぞれ次のように操作を行ないます。

内税のみの設定の仕方　　内 税 設 定

●すべての商品を**「内税扱い」**とするお店は・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・各キーおよび PLU に**「内税」**を設定します

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[1] [小計]　[入金]　[1] [2] [3] [4]　[−]　[小計]

表示“P”　内税指定　部門キーを全部押す　値引きキー　設定終了

■ PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。

[入金]　[1]　[PLU] [PLU] [PLU] ・・・・・・ [PLU]　[小計]

内税指定　数字キー　PLU を使用する数だけ押す（回数は表示窓で確認できます）　設定終了

●内税設定の印字例

全部門キー	01	•0内 @
	02	•0内 @
	03	•0内 @
	04	•0内 @
[−]キー		内 −
全 PLU の場合	001	•0内 @
	002	•0内 @
	003	•0内 @
	004	•0内 @
	197	•0内 @
	198	•0内 @
	199	•0内 @
	200	•0内 @

内税のシンボル

外税のみの設定の仕方　　外 税 設 定

●すべての商品を**「外税扱い」**とするお店は・・・・・・・・各キーおよび PLU に**「外税」**を設定します

お買い上げのときはこの設定を行なう必要はありません(オール外税の設定になっています)が、**「非課税方式レジスター」**(次ページ参照)からの変更など、他の方式から**「外税のみの設定」**に変更する場合は、上記操作の[入金]キー(内税指定)を、[出金]キー(外税指定)に置き換えて操作してください。

設定の仕方

非課税のみの設定の仕方【A】　非課税設定

●すべての商品を**「非課税扱い」**とするお店で、印字用紙に非課税シンボルの“**非**”を**印字する**場合は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・各キーおよび PLU に**「非課税」**を設定します

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[1][小計]　[#/替]　[1][2][3][4]　[－]　[小計]

表示“P”　非課税指定　部門キーを全部押す　値引きキー　設定終了

●非課税設定の印字例

全部門キー	01	•0非 @
	02	•0非 @
	03	•0非 @
	04	•0非 @
[－]キー		非 －
全 PLU の場合	001	•0非 @
	002	•0非 @
	003	•0非 @
	004	•0非 @
	197	•0非 @
	198	•0非 @
	199	•0非 @
	200	•0非 @

非課税のシンボル

■ **PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。**

[#/替]　[1]　[PLU][PLU][PLU]・・・・・・[PLU]　[小計]

非課税指定　数字キー　PLU を使用する数だけ押す（回数は表示窓で確認できます）　設定終了



ワンポイント　●非課税指定は[#/替]キーの代わりに[非課税]キーを使用することもできます。

非課税のみの設定の仕方【B】　非課税方式レジ

●すべての商品を**「非課税扱い」**とするお店で、印字用紙に非課税シンボルの“**非**”を**印字したくない**場合は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**「非課税方式レジスター」**にします

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[3][小計]　[9][9][9][1]　[小計]　[9][9][9][9]　[小計]

表示“P 3”　設定終了

これでレジスターは**「非課税方式レジスター」**になりました。

【非課税方式レジにした機械を元の状態（これを**「課税レジ」**と言います）に戻す方法は 60ページ】



ご注意

●「非課税方式レジスター」の場合、外税や内税、非課税の指定を行なっても受け付けません。

●「非課税方式レジスター」の場合、すべての登録が「非課税扱い」になり、下記のシンボルや項目は印字しません。

> **すべてのモードでの課税シンボル〈外、内、非、＊〉**
> **「登録」「戻」での〈課税対象額、税額〉**
> **「点検」「精算」での〈課税対象額、税額、非課税額合計〉**
> **「設定」（設定点検）での税関連の設定内容**

「非課税方式レジ」にするには、このほかに**ハサミ**を使って機械内の**フィルムを切る**方法もあります。

切る位置は 12ページ参照

外税/内税/非課税が混在の場合の設定の仕方　混在の設定

●取り扱い商品が**「外税」「内税」「非課税」**と、混在しているお店は‥‥‥各キーに**それぞれを設定**します

準備 それぞれのキー（部門キー、値引き、割引き）および PLU を「外税」、「内税」、「非課税」のどれにするかを決めます。

例 ご購入時の状態から、外税、内税、非課税を下記のように設定する

課税方式（使用するキー）	設定するキーおよび PLU
内税　（入金）	3キー、PLU番号 71 ～ 90
非課税　（#/替）	4キー、－キー、PLU番号 91 ～ 100
外税　（出金）	上記以外の部門キーと PLU
オール課税＊　（入金 出金）	%キー

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

1 小計 ― 表示“P”
入金 ― 内税指定
3 ― 部門キー
7 1 ― PLU番号指定
PLU PLU ‥‥‥ PLU ― PLUキーを 90 になるまで押す

#/替 ― 非課税指定
4 ― 部門キー
－ ― 値引きキー
9 1 ― PLU番号指定
PLU PLU ‥‥‥ PLU ― PLUキーを 100 になるまで押す

入金 出金 ― 内税指定 外税指定　続けて押すと「オール課税」＊
% ― 設定するキー
小計 ― 設定終了

●各種課税方式設定の印字例

	印字		
部門	03	•0内 @	内税設定
PLU	071	•0内 @	
	072	•0内 @	
	073	•0内 @	
	074	•0内 @	
	087	•0内 @	
	088	•0内 @	
	089	•0内 @	
	090	•0内 @	
部門	04	•0非 @	非課税設定
－		非 －	
PLU	091	•0非 @	
	092	•0非 @	
	093	•0非 @	
	094	•0非 @	
	097	•0非 @	
	098	•0非 @	
	099	•0非 @	
	100	•0非 @	
%	5	% －	オール課税設定
		＊	
部門	01	•0外 @	外税設定
	02	•0外 @	
PLU	001	•0外 @	
	002	•0外 @	

課税方式のシンボル

ワンポイント
＊オール課税について
外税、内税、非課税が混在している場合には、%には、外税・内税の両方を設定します。
該当金額が按分計算されます。

●税額を含んだ合計金額の端数を－キーで値引きしたい場合（これを**「課税後値引き」**と言います）は、－キーを非課税に設定します。
（課税後値引きの操作例は 38ページ）

ご注意 ●ご購入時の状態からでないときは、続けて外税の設定を以下のように行ないます。

■外税の設定の仕方

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

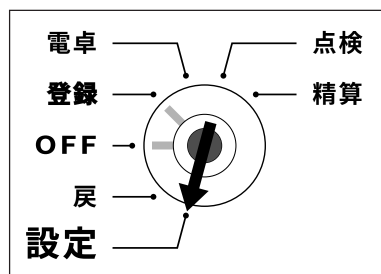
出金 ― 外税指定
1 2 ― 外税にする部門キー
1 ― PLU番号指定
PLU PLU ‥‥‥ PLU ― 必要な回数PLUキーを押す
小計 ― 設定終了

設定の仕方

消費税の内容に変更が生じた場合

本機は、消費税の変更が行なわれた場合の混乱を軽減するように、変更される税率と変更日をあらかじめ設定しておくことができます。
この設定をしておくと、変更日から自動的に新しい税率で計算されます。

●モードスイッチの位置



精算・設定・オーナー用鍵(PGM)でモードスイッチを**「設定」**に合わせます。
モードスイッチを**「設定」**にすると、表示窓の最上桁に“ P ”が表示されます。

その後、「変更日」と「税率」を以下のように設定します。

消費税率の変更日と税率を設定する　消費税変更日と税率の設定

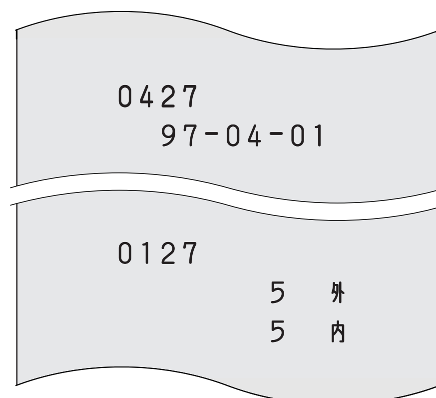
例　変更日が《 **1997年 4 月 1 日** 》で、税率が《 **5%** 》の場合

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[3][小計] — 表示“P 3”
[4][2][7][小計] — 変更日の設定コード
[9][7] — 年
[0][4] — 月
[0][1] — 日
[現/預] — 変更日設定

[1][2][7][小計] — 変更税率の設定コード
[5] — 税率
[現/預] — 税率設定
[小計] — 設定終了

●変更日と変更税率設定の印字例



ご注意
●年は「西暦年」の下２桁を入れます。(1997 → 97)
●月と日は必ず２桁ずつ入れます。(1 ～ 9 → 01 ～ 09)
●消費税の変更当日以後にこの設定を行なった場合は、設定後にモードスイッチを一旦「OFF」にしてください。
●レジスター本体の日付は必ず設定しておいてください。


ワンポイント
＊万一上記の設定を行なわずに、消費税の変更当日を迎えてしまったり、レジ本体の日付が設定してなかった場合は、以下の設定を行なってください。

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

[3][小計] — 表示“P 3”
[1][2][6][小計] — 消費税率の設定コード
[5] — 新税率
[現/預] — 設定
[小計] — 設定終了

●このあと、モードスイッチを**「登録」**にすれば、すべての登録が新しい税率で計算されます。

設定の仕方

その他の消費税関連の設定

消費税関連の設定として、

- ●税額の円未満の端数処理方法の設定
- ●非課税方式レジ(57ページ参照)にしてしまった機械を元に戻す設定
- ●税額や課税対象額、税率、税シンボルなどの印字/非印字の設定

などがあります。

必要に応じてその設定を行なってください。

消費税額の円未満の端数処理方法を設定する　税額の端数処理の設定

 消費税額の円未満の端数は、外税/内税とも**「切捨て」**にする

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 小計（表示“P 3”）　2 2 6 小計（端数処理の設定コード）　1 (A)　1 (B)　現/預（設定）　小計（設定終了）

■ 外税の端数処理

A		
	円未満　四捨五入	0
	円未満　切 捨 て	1
	円未満　切 上 げ	2

■ 内税の端数処理

B		
	円未満　四捨五入	0
	円未満　切 捨 て	1
	円未満　切 上 げ	2

●税額の端数処理設定の印字例

```
0226••0011
```



●ご購入時は“10”(**外税は切捨て、内税は四捨五入**)になっています。

非課税方式レジにした機械を元に戻す　課税レジへの変更

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 小計（表示“P 3”）　9 9 9 1　小計　8 8 8 8　小計（設定終了）

●課税方式変更の印字例

```
••••9991
••••8888　税
```

■引き続き、部門キーその他をお店にあった「課税方式」に設定します。

- ●外税方式のみの場合 ⇒ 56ページ
- ●内税方式のみの場合 ⇒ 56ページ
- ●外税、内税、非課税が混在の場合 ⇒ 58ページ

税額や対象額、税シンボル等の印字/非印字を設定する　税関連の印字/非印字の設定

例　消費税関連の印字を下記のように設定する

桁	項　目	設 定 内 容
B	税　率	印 字 す る
C	消費税のシンボル	"外""内""非"とも印字する

●モードスイッチ ⇒「設定」

3 小計（表示"P 3"）　3 2 6 小計（税関連印字の設定コード）　A B C D: 0 4 0 0　現/預（設定）　小計（設定終了）

■「登録」、「戻」で非課税合計の印字/非印字

A		
A	非課税合計を印字する	0
A	非課税合計を印字しない	1

■課税対象額および税率の印字／非印字

B	課税対象額	税　率	
B	印字する	印字する	4
B	印字する	印字しない	0
B	印字しない	印字する	5
B	印字しない	印字しない	1

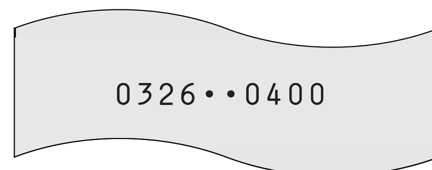
■税シンボル("外""内""非")の印字/非印字

C	外税(税1)シンボル	内税(税2)シンボル	非課税シンボル	
C	印字する	印字する	印字する	0
C	印字する	印字する	印字しない	4
C	印字する	印字しない	印字する	2
C	印字する	印字しない	印字しない	6
C	印字しない	印字する	印字する	1
C	印字しない	印字する	印字しない	5
C	印字しない	印字しない	印字する	3
C	印字しない	印字しない	印字しない	7

■オール課税シンボル("＊")の印字／非印字

D		
D	印字する	0
D	印字しない	1

●税関連印字設定の印字例



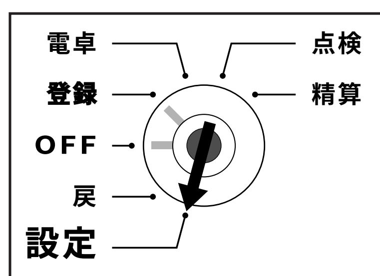


●ご購入時は"0010"(**非課税合計、課税対象額ともに印字、税率は非印字、外税シンボルのみ非印字)**になっています。

本機には、便利な機能が豊富に備えられています。**必要に応じて設定をしてください。**

ここでの説明項目

●モードスイッチの位置



すべての設定は、精算・設定・オーナー用鍵(**PGM**)でモードスイッチを**「設定」**に合わせて操作します。
モードスイッチを**「設定」**にすると、表示窓の最上桁に“ P ”が表示されます。

レシート/ジャーナルの切り替えを設定する　レシート/ジャーナルの設定

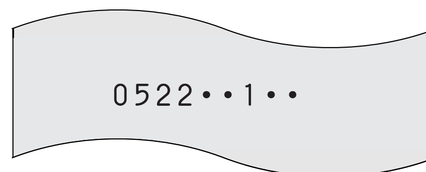
●印字済みのロールペーパーを「レシート」にするか「ジャーナル」にするかを設定します。

例　ロールペーパーを**「ジャーナル」**に設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**



●レシート/ジャーナルの印字例



■レシート/ジャーナルの切り替え

A	印字紙を「レシート」とする	0
	印字紙を「ジャーナル」とする	1

ご注意
●「ジャーナル」に設定した場合は、ロールペーパーの取り付け方法も変更してください。
●「ジャーナル」に設定した場合は、通常の登録では、店名スタンプと日付が印字されません。
●「複写ロールペーパー」を使用する場合は、「レシート」に設定してください。

ワンポイント
●ご購入時は“ **0** ”(**「レシート」**とする)が設定されています。

レシート等に印字するレジ番号(マシン No.)を設定する　レジ番号の設定

●お店に 2台以上のレジスターがある場合に、区別のためにお使いください。

例　レジ番号“ 1 2 3 ”を設定する

●モードスイッチ ⇒「設定」

3 小計 (表示“P 3”)　2 2 2 小計 (レジ番号の設定のコード)　1 2 3 (レジ番号)　現/預 (設定)　小計 (設定終了)

●レジ番号設定の印字例

0222・・0123

ワンポイント
●レジ番号は **0〜9999** まで設定できます。
●ご購入時は **“ 0 ”(レジ番号は印字しない)** が設定されています。
●レジ番号の印字例(印字位置)は 15〜16ページをご覧ください。

乗算の操作順と一連番号のリセット/ノンリセット等を設定する　乗算の計算順等の設定

●乗算登録の場合の「操作順序」(数量×単価 or 単価×数量)および、レシート等に印字する一連番号を、毎日 **“ 0001 ”から始める**(日計明細の精算後にリセットする)か、**連続番号**にする(日計明細の精算後にリセットしない)のかと、「取引中止操作」の可/不可を設定します。

例　一連番号を **「連続番号」** にする

●モードスイッチ ⇒「設定」

3 小計 (表示“P 3”)　6 2 2 小計 (乗算の計算順等の設定コード)　2　0　現/預 (設定)　小計 (設定終了)

■ 乗算の操作順、一連番号、取引中止

乗算の計算順序	日計明細の精算後に一連番号を	取引中止の操作を	
数量×単価	リセットする	可とする	0
		不可とする	4
	リセットしない	可とする	2
		不可とする	6
単価×数量	リセットする	可とする	1
		不可とする	5
	リセットしない	可とする	3
		不可とする	7

■ 常に“ 0 ”を設定します　0

●乗算の計算順等設定の印字例

0622・・0020

ご注意
●乗算の計算順を **「単価×数量」** にした場合は、**「PLU の乗算登録」** と **「時刻・日付の表示」** ができなくなります。(32ページ参照)

ワンポイント
●ご購入時の設定は **“ 0 0 ”(乗算の計算順序は「数量×単価」、一連番号は「リセットする」、取引中止の操作は「可とする」)** になっています。

設定の仕方

ロールペーパーに印字する**印字方法**を**設定**する　印字制御の設定

●印字制御には、下記の内容があります。必要に応じて設定してください。

例　お買い上げ点数を**「印字する」**に設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

3 小計（表示"P 3"）　5 2 2 小計（印字制御の設定コード）　A B C D: 0 1 0 0（A※）　現/預（設定）　小計（設定終了）

■ レシートorジャーナルと後レシート内容

	印字用紙を※	後レシートの印字内容	
A	レシートとする	明 細 印 字	0
		合 計 印 字	4
	ジャーナルとする	明 細 印 字	1
		合 計 印 字	5

●印字制御設定の印字例

0522••0100

■ お買い上げ点数、時刻、一連番号の印字／非印字

	お買い上げ点数を	すべての印字で時刻を	**「登録」「戻」**で一連番号を	
B	印字する	印字する	印字する	1
			印字しない	5
		印字しない	印字する	3
			印字しない	7
	印字しない	印字する	印字する	0
			印字しない	4
		印字しない	印字する	2
			印字しない	6

■ ジャーナルにした場合の印字内容

C	明細を印字する（ジャーナルスキップをしない）	0
	明細を印字しない（ジャーナルスキップをする）	1

■ 合計前の1行空き、ジャーナルへの日付印字

	レシートにした場合の合計直前の1行空きは	ジャーナルにした場合の**「登録」「戻」**での日付印字は	
D	1行空き あり	印字する	4
		印字しない	0
	1行空き なし	印字する	6
		印字しない	2

ご注意 ※ 62ページの単独設定の数値がここに入ります。したがって、単独設定で**「ジャーナルとする」**に設定後に**「522」**の設定を行なう場合は、**「A」**には"**1**"（または"**5**"）を設定します。

ワンポイント ●ご購入時の印字制御の設定は"**0000**"になっています。

設定の仕方

点検/精算レポートの印字項目を設定する　X/Zレポートの印字制御の設定

●点検または精算で打ち出される集計内容を《レポート》と言いますが、その印字制御には以下の内容があります。



例　**「戻」**モードと［戻］キーの合計を**「印字しない」**に設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

［3］［小計］　［8］［2］［2］［小計］　［3］　［0］［0］　［現/預］　［小計］

表示"P3"　X/Zレポート印字制御の設定コード　　設定　設定終了

■**「戻」**モードと［戻］キーの合計を

（件数、金額とも）印字する	2
（件数、金額とも）印字しない	3

■ 常に"00"を設定します　［0］［0］

● X/Zレポートの印字制御設定の印字例

```
0822・・0300
```

ワンポイント　●ご購入時の**X/Zレポート**の印字制御の設定は"**200**"（**「戻」**モードと［戻］キーの合計は**「印字する」**）になっています。

［－］キーの課税方式とマイナス取引の可/不可を設定する　マイナスキーの働き等の設定

●値引きのし過ぎで小計がマイナスにならないように、［－］キーにそのためのチェック機能を持たせていますが、これを解除して、マイナス取引が可能なように設定できます。

例　マイナス取引を**「認める」**に設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

［3］［小計］　［0］（A）　［1］（B）　［0］（C）　［－］　［小計］

表示"P3"　　設定　設定終了

■課　税　方　式

A	
外税指定（テーブル1）	0
内税指定（テーブル2）	1
非　課　税　指　定	4
オ ー ル 課 税 指 定	6

■［－］キーを押したときに小計がマイナスになることを

B	
認めない（マイナス取引不可）	0
認める（マイナス取引可）	1

■ 常に"0"を設定します　［0］

●マイナスキーの働き設定の印字例

```
0010　－
```



ワンポイント　●ご購入時の［－］キーは"**000**"（**外税指定、マイナス取引不可**）が設定されています。
●左記 **A** の「課税方式」の設定は、P.56～P.58（消費税の課税方式の設定）で設定されます。

「電卓」モードでドロアーを開けるキー等を設定する　ドロアー開き等の設定

●モードスイッチが「**電卓**」の場合に[#/替]キーを押せばドロアーが開きますが、このほかに計算終了の[現/預]キーで開けることもできます。また、点検/精算時に、電卓モード中の計算回数を印字することができます。なお、ジャーナル時の印字を合計だけにする場合もここに設定します。



「**電卓**」モード中の計算回数を、点検/精算時に「**印字する**」に設定する

●モードスイッチ ⇒ 「**設定**」

3 [小計]（表示"P 3"）　1 0 2 2 [小計]（ドロアー開き等の設定コード）　0（A） 2（B） 0 0（C）　[現/預]（設定）　[小計]（設定終了）

■ジャーナル時の印字内容

A		
A	通常（明細）印字	0
A	省略（合計のみ）印字	4

■「**電卓**」モード中のドロアー開きのキーおよび**計算回数**の印字/非印字

B	「電卓」モード中[現/預]キーでドロアーが	「電卓」モード中[#/替]キーでドロアーが	「電卓」モード中の計算回数をX/Z時に	
B	開く	開く	印字する	3
B	開く	開く	印字しない	7
B	開く	開かない	印字する	1
B	開く	開かない	印字しない	5
B	開かない	開く	印字する	2
B	開かない	開く	印字しない	6
B	開かない	開かない	印字する	0
B	開かない	開かない	印字しない	4

■ 常に"００"を設定します　0 0（C）

●ドロアー開き等設定の印字例

```
1022••0200
```

ワンポイント　●ご購入時の**ドロアー開き等**の設定は"０６００"（「**電卓**」モード中は[#/替]キーで「**ドロアーが開く**」）になっています。

設定の仕方

締めキーに預かり入力の強制などを設定する　　締め上げ方法の設定

●［現/預］キーや［貸］キーなどの**「締めキー」**を、より使いやすく間違いなく登録の終了ができるように、預かり金入力の強制や置数入力不可などを設定します。


［現/預］キーと［券］キーの預かり入力を**「強制する」**に設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

		A	B	C	
［3］［小計］		［1］	［0］	［0］	［現/預］
表示"P 3"					［現/預］設定
		［1］	［0］	［0］	［券］ ［小計］
					［券］設定　設定終了

■ 預かり入力の強制

A		
	強制しない	0
	強制する	1

■ 置数（預かり）入力の可/不可

B		
	入力可能	0
	入力「不可」	1

■ 内税の課税対象額と税額の印字/非印字

C		
	印字する	0
	印字しない	1

●締め上げ方法設定の印字例

```
0100現
0100  券
```


ワン ポイント　●ご購入時は［現/預］キーと［券］キーは"**000**"が、［貸］キーは"**010**"**（預かり金額の入力不可）**が設定されています。

％ キーの働きと円未満の端数処理方法を設定する　%キーの働き等の設定

●％ キーを「割増し」とする場合や、%計算をしたときの円未満をどうするのかを設定します。

例　％ キーは**「割引き」**で、円未満を**「切捨て」**に設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**



●%キーの働き等設定の印字例



■ 課　税　方　式

A	外税指定（テーブル1）	0
	内税指定（テーブル2）	1
	非 課 税 指 定	4
	オ ー ル 課 税 指 定	6

■ ％ キーの働きは

B	「割引き」%－キー	0
	「割増し」%＋キー	1

■ %計算の端数処理

C	円未満 四捨五入	0
	円未満　切 捨 て	1
	円未満　切 上 げ	2



●ご購入時の ％ キーは"　600　"（**オール課税指定、割引きキー、端数は四捨五入**）が設定されています。

●上記 **A** の「課税方式」の設定は、P.56 ～ P.58（消費税の課税方式の設定）で設定されます。

設定の仕方

部門に入力できる桁数を制限する　部門の金額桁数制限の設定

●各部門キーごとに、登録できる商品単価の最高桁数を設定しておくことにより、登録ミスを少なくすることができます。

例 各部門キーに、下記の桁数制限を設定する

部門キー	桁　数　制　限
1	5 桁（¥99,999 まで）
2	5 桁（¥99,999 まで）
3	4 桁（¥9,999 まで）
4	桁数制限なし（¥9,999,999 まで）

●モードスイッチ ⇒「**設定**」

3 小計　1 5 6 6 小計　5　1 2　4　3　0　4　小計

表示“P 3”　桁数制限の設定コード　桁数制限　部門　桁数制限 部門　桁数制限 部門　設定終了

■ 桁 数 制 限

✡ 制限なし ¥1～ ¥9,999,999 :	0
✡ 1 桁　¥1 ～ ¥9 :	1
✡ 2 桁　¥1 ～ ¥99 :	2
✡ 3 桁　¥1 ～ ¥999 :	3
✡ 4 桁　¥1 ～ ¥9,999 :	4
✡ 5 桁　¥1 ～ ¥99,999 :	5
✡ 6 桁　¥1 ～ ¥999,999 :	6
✡ 設定単価以外の登録はできない:	8

●桁数制限設定の印字例

部門番号	
01	0050
02	0050
03	0140
04	0200

単品現金売り/負単価
課税方式
桁数制限



●登録時に、桁数制限を超えた金額を入れて部門キーを押した場合はエラーになります。
（桁数制限を解除しての登録 ⇒ **42ページ**）

●部門キーに単価を設定して、その単価だけで登録したい場合、桁数制限“**8**”を設定します。
（設定単価での登録 ⇒ **31ページ**）

●ご購入時は、すべての部門キーが“**0**”（**桁数制限なし**）になっています。

部門キーに単品現金売りとマイナス単価を設定する　単品現金売りと負単価の設定

●部門キーを押すだけで、レシートを発行(取引終了)したいときは、部門キーに《**単品現金売り**》を、登録金額を負(マイナス)で集計したい場合は《**負単価**》を、それぞれ部門キーに設定します。

例 部門キー[4]に「**単品現金売り**」を、部門キー[3]に「**負単価**」を設定する

●モードスイッチ ⇒ 「**設定**」

[3][小計] [1][8][6][6][小計] [1][4] [2][3] [小計]

表示"P 3"　単品現金売り、負単価の設定コード　設定　部門　設定　部門　設定終了

■ 単品現金売りおよび負単価

✡ 通常の部門キー：	0
✡ 単品現金売りにする：	1
✡ 負単価にする：	2

●単品現金売りと負単価設定の印字例

部門番号
04　1200
03　2140

単品現金売り/負単価
課税方式
桁数制限

ご注意 ●「**単品現金売り**」の設定を行なうと、預かり金の入力や釣銭計算ができなくなります。

ワンポイント ●ご購入時は、全ての部門キーが" **0** "(**通常の部門キー**)になっています。

設定の仕方

PLU に部門リンクを設定する　　PLU の部門リンクの設定

● PLU に集計される金額と数量を、同時に部門にも集計したいときに、その部門を指定することを**《部門リンク》**と言います。

例　PLU を以下のように部門にリンクさせる

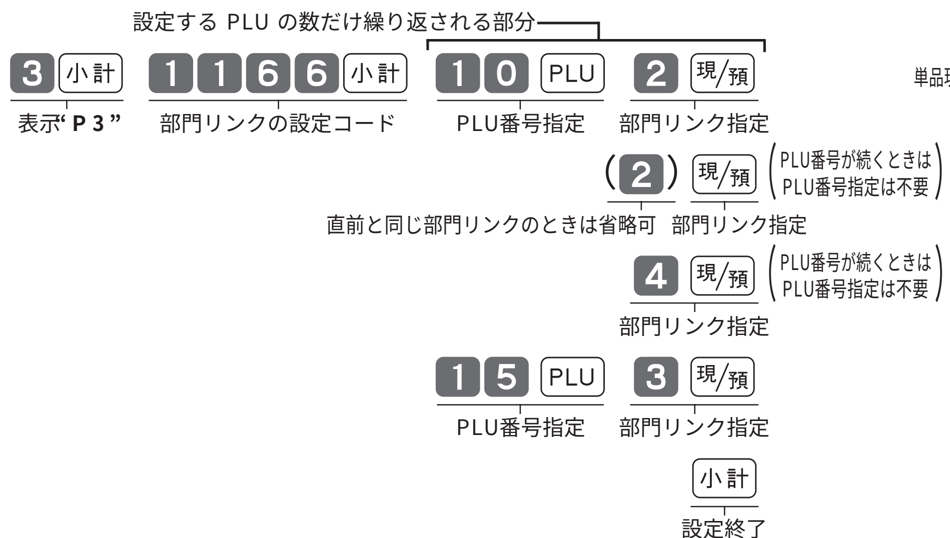
部門番号	PLU番号
2（2）	PLU番号 **10**、PLU番号 **11**
4（4）	PLU番号 **12**
3（3）	PLU番号 **15**

●部門リンク設定の印字例

```
010    0002
011    0002
012    0004
015    0003
```

PLU番号
単品現金売り/負単価/品番PLU
課税方式
リンク部門番号

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**



ワン ポイント
●リンクできる部門番号は**1～4**です。
●ご購入時は、すべての **PLU** の部門リンクは“ **0** ”で、どこへもリンクされていません。

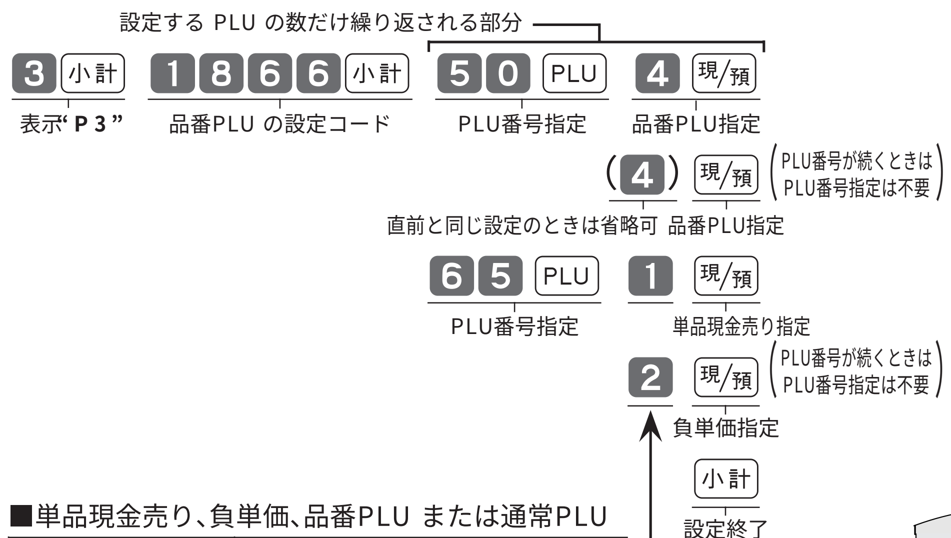
設定の仕方

PLU に品番PLU 、負単価等を設定する　　品番PLU 等の設定

● PLU は通常、設定されている単価で登録されますが、設定単価以外の単価で登録したい場合は、**《品番PLU 》**を設定します。（品番PLU の解説と操作例 ⇒ 33、34ページ ）
また、PLUにも部門キーと同様な**《単品現金売り》**と**《負単価》**を設定することができます。

例 PLU番号 **50** と **51** に**「品番PLU」**を、**65** に**「単品現金売り」**を、**66** に**「負単価」**を設定する

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**



■単品現金売り、負単価、品番PLU または通常PLU

単品現金売り/通常PLU	負単価/通常PLU	品番PLU/通常PLU	
通常PLU	通常PLU	通常PLU	0
		品番PLU	4
	負 単 価	通常PLU	2
		品番PLU	6
単品現金売り	通常PLU	通常PLU	1
		品番PLU	5
	負 単 価	通常PLU	3
		品番PLU	7

●品番PLU 等設定の印字例

```
050    4000
051    4000
065    1000
066    2000
```

PLU番号
単品現金売り/負単価/品番PLU
課税方式
リンク部門番号



●ご購入時は、すべての **PLU** は“ **0** ”で、通常PLU になっています。

設定の仕方

本機の設定内容を確認する

●設定されている内容の確認(**「設定点検」**と言います)には 2種類あります。

◎ **PLU以外の設定点検** ……………………………………… **“ P ”**または**“ P 3 ”**で点検します

部門キーや、% キーに設定されている単価や%率、
印字制御や消費税関連制御等の全体設定と部門キーの桁数制限など

◎ **PLUの設定点検** …………………………………………………………… **“ P 6 ”**で点検します

PLU に設定されている単価や品番PLU 、部門リンクなど

PLU以外の設定点検

●モードスイッチ ⇒ **「設定」**

●キー操作 ⇒ 1 小計 小計 と押します。(3 小計 小計 と押しても同じです)

(1 小計：表示“ **P** ”　小計：点検開始／3 小計：表示“ **P 3** ”　小計：点検開始)

●PLU以外の設定点検印字例

印字	説明
96-11-18	日　付
21-20	時　刻
0123　0265	レジ番号/一連番号
X	点検シンボル
01　•100外　@ 0050 02　•220外　@ 0050 03　•0内　@ 2140 04　•1,100非　@ 1200	部門キー 上段：部門単価／課税方式 下段：単品現金売り・負単価/課税方式/桁制限/不使用 (設定単価、課税方式等「設定データ」が全で“ 0 ”の部門はスキップします)
0100現	現/預キー
0010貸	貸キー
0100　券	券キー
(現/預・貸・券キー)	不使用/預かり強制/預かり不可/内税印字
非　－ 0410	－キー 上段：課税方式 下段：課税方式/負取引
5　%　－ ＊ 0601%　－	%キー 上段：%率 中段：課税方式 下段：課税方式/%－・%＋/端数処理
••10••	丸 め 金 額

```
0122••0010
0222••0123
0522••0100
0622••0020
0822••0200
1022••0200

0126
      3   外
      3   内
0226••0011
0326••0400
0127
      5   外
      5   内
0427
  97-04-01

0132
0232
0332
0432

    ••••8888    税
    ••••9990
```

設定点検

日付の印字順
レジ番号の設定
レシート/ジャーナル、お買い上げ点数等印字制御
乗算の計算順、一連番号制御等
X/Zレポートの印字制御
電卓モード制御
現状税率
税額の端数処理方法
税関連の印字制御
変更税率
税率変更日
サービスコールNo.等
課税レジ/非課税レジ
フィルムカットの有効/無効

PLU の 設 定 点 検

●モードスイッチ ⇒「**設定**」

●キー操作 ⇒ 6 小計（表示"P6"） 小計（点検開始） と押します。

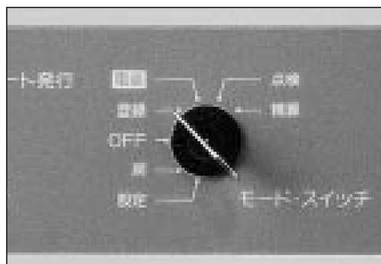
●PLUの設定点検印字例

印字		説明
96-11-18		日　付
21-23		時　刻
0123　0267		レジ番号/一連番号
X		点検シンボル
PLU番号 1	001　•210外 @ 0000	上段：PLU単価／課税方式 下段：単品現金売り・負単価/課税方式/部門リンク
PLU番号 2	002　•220外 @ 0000	
PLU番号 3	003　•230外 @ 0000	
PLU番号10	010　•300外 @ 0002	（設定単価、課税方式等「設定データ」が全で"0"のPLUはスキップします）
	011　•215外 @ 0002	
	012　•255外 @ 0004	
	050　•420外 @ 4000	
	065　•200外 @ 1000	
	066　•10外 @ 2000	
	071　•1,000内 @ 0100	
	099　•680非 @ 0200	
	100　•980非 @ 0200	
••••8888 税		課税レジ/非課税レジ
••••9990		フィルムカットの有効/無効

設定点検

ロールペーパー（印字用ロール紙）の交換

●ロールペーパーが少なくなると（約１m）、赤い線が出てきます。お早めに新しいロールペーパーと交換してください。 ➤➤ **ロールペーパーは「RP-5860**（紙幅 58 ×外径 60mm）**」**です。





①モードスイッチを**「登録」**の位置にします。

②プリンターカバーの「後方部」を持ち上げて、カバーを取り外します。

◆「レシート」として使用の場合



③残りのロールペーパーが「用紙挿入口」に入る前の位置で、ペーパーを切り離します。



④プリンター内に残ったロールペーパーを［紙送り］キーを押して、送り出します。

（手で引き出さないでください）



⑤ロールペーパーは絶対に後ろへ引いたり、ひっぱったりしないでください。

（プリンター故障の原因になります）

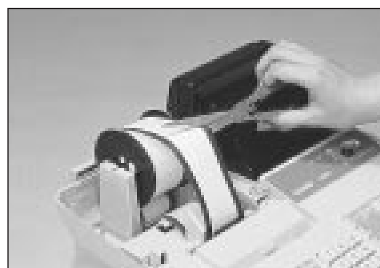


⑥本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を「芯受け」を開いて取り除きます。

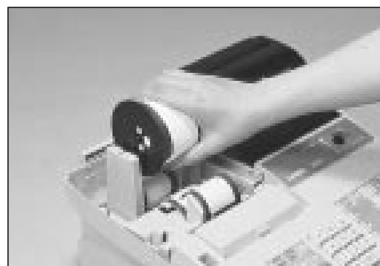
新しいロールペーパーを取り付けます。

取り付け方は ⇒ 12 ～ 14ページ

◆「ジャーナル」として使用の場合



③［紙送り］キーを押して 20cm位、ロールペーパーを空送りしてから、印字にかからない位置でペーパーを切り離します。



④ジャーナル巻き取りホルダーをホルダー受けから上へ、取り外します。



⑤巻き取りホルダーの左側の側板を、ずらして取り外します。

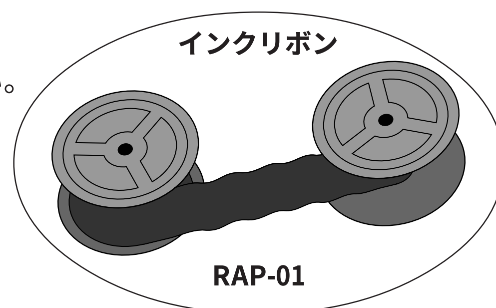


⑥ 印字済み用紙を、ホルダーから横方向にずらして外します。
（その後、左側の側板をセットして、ホルダーを元の形に戻します）

以下、本体内に残ったロールペーパーの取り除き方は、左側の**《「レシート」として使用の場合》**の手順で行ないます。

インクリボンの交換

●印字が薄くなってきたら、新しいインクリボンと交換してください。
➤➤ インクリボンは「 RAP-01 」です。





①モードスイッチを**「登録」**にして、プリンターカバーの後方部を持ち上げて、カバーを取り外します。



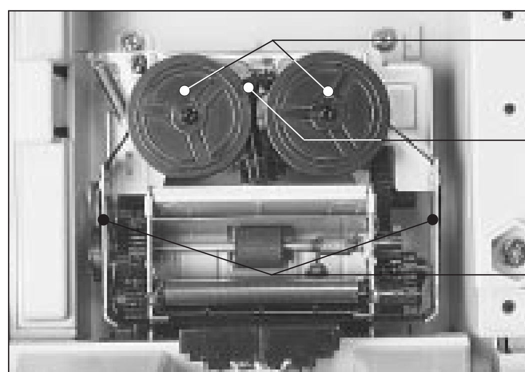
② 印字用紙を、「用紙挿入口」に入る前の位置で切り離し、紙送りキーを押してプリンター内の用紙を排出します。



③「書き込み台」を取り外します。
書き込み台の左側のツマミを押しながら上へあげます。



④古いインクリボンを取り外します。
右または左のスプールの縁を持ち、順番に取り去ります。



⑤「リボン押さえ」の無い側から、新しいインクリボンを取り付けます。
「リボンスプール」の突起を下にし、リボンが外側から出るようにセットします。
「リボンガイド」に沿って所定の位置を通してから、反対側もセットします。このとき、リボン押さえを、すでに入っているスプール側に押しながら入れます。
右または左のスプールを手で回して、リボンが確実にリボンガイドを通って巻き取られることを確認します。



⑥「書き込み台」を取り付けます。
書き込み台の右側の凸部を所定の穴に入れ、左側を上から押します。

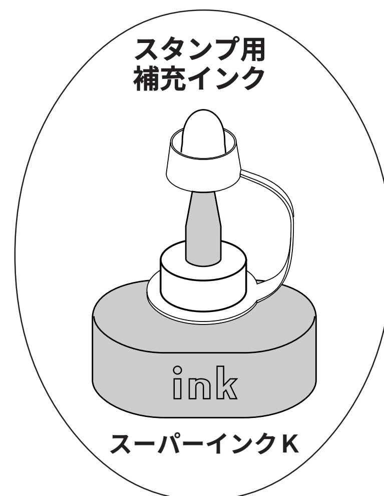


⑦ロールペーパーを元のようにセットし、プリンターカバー前面のツメを所定の穴に入れ、カバーを閉じて完了です。

ご注意

●インクリボンには、スタンプ用インクや他のインクの補充は、絶対に行なわないでください。
インク補充は、リボンが動かなくなったり、プリンター寿命を縮め、故障の原因になります。
必ず、新しいインクリボンと**「交換」**してください。

店名スタンプ用インクの補充

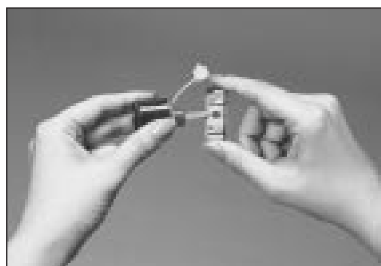


●店名スタンプが薄くなってきたら、スタンプインクを補充してください。
➤➤ **スタンプ用補充インクは「スーパーインクK」**です。



①モードスイッチを**「OFF」**にして、プリンターカバーの後方部を持ち上げて、カバーを取り外します。

②「店名スタンプ」の左右を持って上へ引き抜きます。



③スタンプ台裏面の円形の穴 に、指定のスタンプ用補充インク（スーパーインクK）を 2〜3滴注入します。

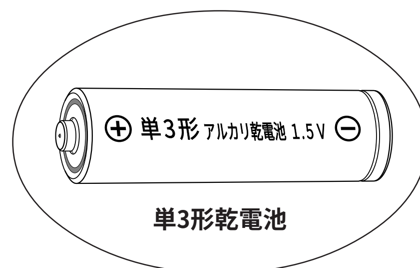
④スタンプ液がしみ込んでから、店名スタンプを引き抜いたときの逆の要領で、スタンプ面を手前にして所定の位置に差し込み、“ カチッ ”と音がするまでしっかりと押し込みます。

⑤プリンターカバー前面のツメを所定の穴に入れ、カバーを閉じて完了です。

ご注意 ●スタンプ用インクは必ず指定のインクを使用し、店名スタンプ以外には使用しないでください。
また、インク補充は、その効果が現われるまでに多少の時間がかかりますので、補充し過ぎないように注意してください。

乾電池の交換

●表示窓の左側に“L”が点灯したら電池の寿命が来たことを示します。
新しい乾電池と交換してください。
➤➤ **乾電池は「単３形乾電池３本」**です。



単3形乾電池



①モードスイッチを**「登録」**にして、プリンターカバーの後方部を持ち上げて、カバーを取り外します。

②印字用紙を、「用紙挿入口」に入る前の位置で切り離し、[紙送り]キーを押してプリンター内の用紙を排出します。



③「書き込み台」を取り外します。
書き込み台の左側のツマミを押しながら上へあげます。



④「電池ボックスのフタ」を取り外します。
電池ボックスのフタのツマミを押しながら、左側へ倒します。

⑤古い電池を3本とも取り外します。
最初に真ん中の電池を取り去り、次にどちらかの電池を真ん中へ移動してそこで取り出します。
最後の１本も同様にして取り出します。



⑥新しい電池を3本⊕ ⊖ に注意して、電池ボックスに確実にセットします。



⑦「電池ボックスのフタ」を、外したときの逆の要領で取り付けます。
左側のツメの部分を先に入れてから、右側に倒します。



⑧「書き込み台」を取り付けます。
書き込み台の右側の凸部を所定の穴に入れ、左側を上から押します。



⑨ロールペーパーを元のようにセットし、プリンターカバーを取り付けて完了です。

ご注意
●電池交換中は、差し込みプラグを**コンセントより抜かない**でください。抜くと、日付や時刻、集計数値等が消えてしまいます。
●乾電池は、3本とも**「同じ種類の新しい電池」**を使用し、古い電池や違う種類の電池を混ぜることはしないでください。
●乾電池は、充電や分解および、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

カシオ 240ER の仕様

型式	240ER（4部門）
キーボード部	ストローク方式　2キーロールオーバー
表示部	蛍光表示管使用　桁数 8桁（3桁位取り付き）　収納式回転表示器付き
印字部	活字輪選択方式プリンター1機搭載　レシートあるいはジャーナル（営業記録）の切り換え 印字速度　約 3.2 行／秒 印字桁数　12桁 記録紙　幅 57〜58mm、外径 80mm 以下の普通紙（推奨 RP-5860 ） 店名スタンプ　縦 10mm × 横 30mm（レシートに設定した場合に自動印字）
最大演算桁数	置数・預かり金 8桁　登録 7桁　合計 8桁　リピート 6桁　ノンアド 8桁、 %レート 整数 2桁＋小数 2桁　税率 整数 2桁＋小数 4桁　乗算数量 整数 4桁＋小数 2桁
電卓機能	加減乗除計算　%計算　税金計算　最大計算桁数は　置数 8桁　答 8桁（負数のときは 7桁 小数以下最大 3桁）
ドロアー	紙幣 3種・硬貨 5種（取り外し可）　ドロアーロック錠付き　ドロアー/本体一体型
時計・日付機能	月差± 30秒（通電状態・ 25℃において） 2099年までフルオートカレンダー
メモリー保護	単3形乾電池3本使用　アルカリ電池の場合　記憶保持 約 3年　電池寿命 約 3年 マンガン電池の場合　記憶保持 約 1年　電池寿命 約 1年
電源	ＡＣ 100Ｖ ± 10Ｖ　50Hz／ 60Hz
消費電力	最大 11W　待機時 7W　スイッチOFF時 5W
周囲温度・湿度	0℃ 〜 40℃　10% 〜 90%
外形寸法	幅 348　奥行 435　高さ 269mm（ドロアー含む）　回転表示器を出した高さ 329mm
重量	約 7.2Kg（ドロアー含む）
オプション	防水カバー　WT-73
消耗品	記録紙（普通紙）　RP-5860（紙幅 58mm、外径 60mm ）　複写用記録紙は CP-5880 インクリボン　RAP-01 店名スタンプ用補充インク　スーパーインクＫ

■記憶保持用電池について

本機は、長期間（約 3年間）未使用状態でも、記憶（メモリー）が保護されるように単3形アルカリ乾電池を使用しています。電池寿命がなくなってきますと表示窓の最上桁に“L”が表示されます。このときは速やかに電池を交換してください。

メ　モ

〈第二種情報技術装置〉

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

メ　モ

さくいん

10 索　引（さくいん）

さくいん

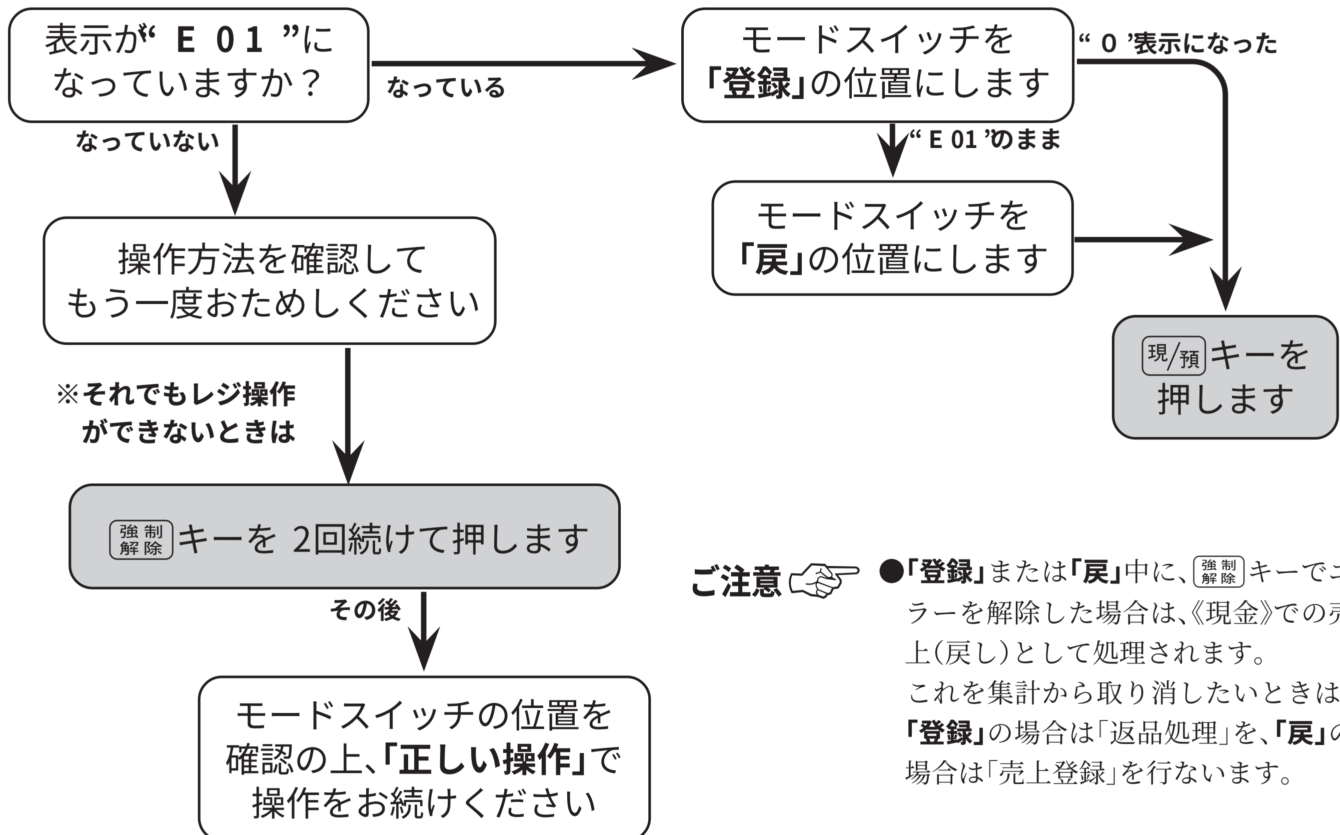
故障かなと思う前に

機械が全然作動しない、または、時々おかしくなる等の場合は、故障と思いがちですが、その前に次の点をお確かめください。

こんなとき	ここをお確かめください
ドロアー（引き出し）が開かない	●硬貨や紙幣がはさまっていませんか？
	●ドロアーロック錠がかかっていませんか？ ⇒ 5ページ
表示がつかない	●差し込みプラグがコンセントからはずれたり、はずれかかっていませんか？
	●コンセントまでまちがいなく電気が流れていますか？
レシート（ジャーナル）が印字されない	●紙づまりを起こしていませんか？
	●モードスイッチが**「電卓」**になっていませんか？ ⇒ 27ページ
	●レシートが発行されないときは、レシート発行が**「停止」**になっていませんか？ ⇒ 7ページ
	●ロールペーパーは残っていますか？ ⇒ 75ページ
ジャーナルが巻き取られない	●ロールペーパーの初めが、巻き取りホルダーにきちんとセットされていますか？ また、巻き取りホルダーはホルダー受けに確実にセットされていますか？ ⇒ 13ページ
	●紙づまりを起こしていませんか？
印字がうすい、または、印字ムラがある	●インクリボンが古くて、インク切れの状態ではありませんか？ ⇒ 76ページ
	●インクリボンや店名スタンプが正しくセットされていますか？ ⇒ 76、77ページ
店名スタンプがうすい	●店名スタンプがインク切れの状態ではありませんか？ ⇒ 77ページ
	●店名スタンプが正しくセットされていますか？ ⇒ 77ページ
表示窓に“ L ”が点灯する	●乾電池が入っていない、または消耗しています ⇒ 78ページ
日付・時刻が消えてしまった	●乾電池が入っていないか、消耗しきったのではありませんか？ ⇒ 78ページ
表示窓に“ E 9 4 ”が表示される	●用紙が正常に送られていません。…………紙づまりを直してからモードスイッチを一旦**「OFF」**にしてください。

うまく動かないときは

●レジ操作中に、**エラー音**が“ **ピーッ** ”と鳴ることがあります。これは、機械が操作ミスを検出したしるしですが、通常は**エラーの自動解除機能**によりそのまま正しく操作を続けることができます。
操作ミスの内容によっては、エラーの自動解除後でも、それ以後の操作ができなくなることもあります。
このときは以下のようにしてください。



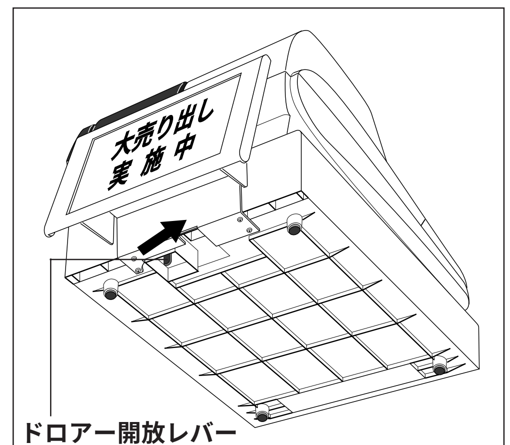
ご注意

●**「登録」**または**「戻」**中に、強制解除キーでエラーを解除した場合は、《現金》での売上(戻し)として処理されます。
これを集計から取り消したいときは、**「登録」**の場合は「返品処理」を、**「戻」**の場合は「売上登録」を行ないます。

ドロアー(引き出し)が開かなくなったとき

万一、停電や故障などでドロアーが開かなくなったときは、ドロアー底面の金具(ドロアー開放レバー)を矢印の方向に動かすと開きます。

＊ドロアーロック錠がかかっている場合は開きませんので、ロックを解除してから行なってください。



■保証およびアフターサービスについて

保証書はよくお読みください	保証期間は、お買い上げ日から**１年間**です。 保証書（別に添付しています）は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
修理を依頼されるときは	まず 85、86ページの**「こまったときには」**に従って調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。 ●保証期間中は‥‥‥ 保証書の規定の通り、お買い上げの販売店、またはカシオサービスセンターが修理をさせていただきます。保証書をご用意のうえ、お客様相談センターへご連絡ください。 ●保証期間を過ぎているときは‥‥‥ お買い上げの販売店、またはお客様相談センターへご依頼ください。 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。
アフターサービスなどについて疑問なことは	お買い上げの販売店、お客様相談センターにお問い合わせください。 カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

■消耗品のお申し込みは

お買い上げの販売店へ機種名を告げてお申し込みください

240ER の消耗品

ロールペーパー　：紙幅 58 ×外径 60 mm
RP-5860-TW (20巻入)、RP-5860x5 (5巻入)
インクリボン：RAP - 01
店名スタンプ用補充インク：スーパーインクＫ
乾　電　池：単3型アルカリ乾電池[LR6(AM3)]

■カシオレジスターお客様相談窓口

●製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
●修理の受付、お電話による問診をいたします。
また、必要に応じ修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



0570-001166

市内通話料金のみでご使用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日
AM9:00～12:00　PM1:00～5:30
（日曜・祝日・年末年始などを除く）

携帯電話・PHSなどをご利用の場合は、03-5294-7315（東京）をご利用ください。

■カシオ サービスセンター

地域	所在地
●北海道	札幌
●東北	盛岡、仙台
●関東	宇都宮、水戸、高崎、埼玉、千葉、東京、多摩、横浜
●信越	新潟、長野
●北陸	金沢
●東海	静岡、名古屋
●近畿	京都、大阪、神戸
●中国	岡山、広島
●四国	高松
●九州	福岡、熊本、鹿児島

＊その他、26カ所の出張所があります。

店名・住所

販売店（問い合わせ）先を明記しておきましょう （　　）　担当者

MO0205-H
Printed in Malaysia

240ER＊JA-B